FUNAI

地上・BS・110度CSデジタル

# ハイビジョン液晶テレビ 1070シリーズ

## 取扱説明書

簡　易　版

**詳細版取扱説明書のご案内**

この取扱説明書は、基本的な操作についてのみを説明した**簡易版**の**取扱説明書**です。
設定方法や便利な使いかたなど、くわしい説明については、船井電機 製品情報サイトの「サポート」ページ内「製品情報」ページから、**詳細版**の**取扱説明書**をご確認ください。

funai.jp/cs/manuals/#1070


はじめに 2
接続する 18
視聴する 29
録画する 34
再生する 37
消去する 38
録画についての補足説明 39
各種設定 42
さまざまな情報 44


型番 FL-32H1070
FL-24H1070

dts　HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　G-GUIDE

# もくじ



## はじめに


もくじ ..... 2
ご使用の前に ..... 3
- 取扱説明書の種類について ..... 3
- 本書について ..... 4
- 本書で使用するマークの意味 ..... 4

安全のために必ずお守りください ..... 5
各部のなまえとはたらき ..... 14
- 本機前面／側面／背面 ..... 14
- リモコン ..... 16

miniB-CASカードについて ..... 17
- miniB-CASカード情報を確認する ..... 17


## 接続する


アンテナや外部機器をつなぐ ..... 18
- アンテナをつなぐ ..... 18
- 外部機器をつなぐ ..... 19

ネットワークをつなぐ ..... 25
「かんたん一括設定」をする ..... 26


## 視聴する


デジタル放送について ..... 29
デジタル放送を見る
（地上･BS･110度CSデジタル） ..... 30
番組表（Gガイド）について ..... 32
- 番組表の表示／受信について ..... 33


## 録画する


番組を録画する ..... 34
- 放送中の番組を録画する ..... 34
- 番組表から一発予約で録画する ..... 35
- 録画中に録画を停止する ..... 35

録画予約を確認･消去する ..... 36
- 設定済みの録画予約を確認する ..... 36
- 予約一覧から不要な録画予約を消去する ..... 36


## 再生する


録画した番組を再生する ..... 37


## 消去する


録画した番組を消去する ..... 38


## 録画についての補足説明


録画についての補足説明 ..... 39


## 各種設定


放送波による自動更新設定をする ..... 42
設定を初期化する ..... 43
- 一部の設定を初期化する ..... 43
- すべての設定を初期化する ..... 43


## さまざまな情報


困ったときは ..... 44
- おかしいな?と思ったときの調べかた ..... 44

テレビ画面に表示されるメッセージ ..... 48
使用上のお願い ..... 49
保証とアフターサービス ..... 50
仕様 ..... 51

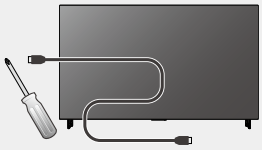
# ご使用の前に

## 取扱説明書の種類について

本機の説明は、内容によって**簡易版の取扱説明書**（本書）と**詳細版の取扱説明書**（当社製品情報サイトに掲載）に分けて記載しています。
必要な情報にあわせて、**簡易版の取扱説明書**または**詳細版の取扱説明書**をご覧ください。

### 簡易版の取扱説明書（本書）に記載している主な内容

- 安全上のご注意
- 設置、接続について
- 基本的な操作の説明



※その他、本機をお使いになる前にご覧いただきたい情報などを記載しています。

### 詳細版の取扱説明書に記載している主な内容

- 機能の説明
- くわしい操作の説明
- 詳細な設定について
- 困ったときは

funai.jp/cs/manuals/#1070

※本機の機能を存分にお使いいただくために、簡易版の取扱説明書（本書）には記載されていない、よりくわしい情報をパソコン／スマートフォンなどでご確認いただけます。

### さらにくわしい情報は、パソコンやスマートフォンから、当社製品情報サイトの「サポート」ページをご覧ください。

funai.jp/cs/

- ソフトウェアの更新情報
- 最新の取扱説明書（本書）
- 困ったときは
- よくあるご質問
- 接続確認済み機器
- 壁掛け金具

### サポート動画のご案内

当社製品情報サイトの「サポート」ページで、接続方法や使いかたをわかりやすく説明したサポート動画をご覧いただけます。

funai.jp/cs/supportmovie/#1070

# 本書について

本書は**1070**シリーズ（FL-32H1070／FL-24H1070）用に作成しています。
サイズが異なる項目や仕様については、FL-32H1070、FL-24H1070を記載しています。

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞき「FL-32H1070」です。
- 「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、マーク、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。



# 本書で使用するマークの意味

| マーク | 説明 |
|---|---|
| ご注意 | 取り扱い上のご注意を記載しています。 |
| お知らせ | 機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。 |

| マーク | 説明 |
|---|---|
| P.1 | 関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。 |
| ➡ | リモコンの決定や▶などを押して、項目の決定や選択をすること、または次の動作に移行する場合に記載しています。 |

- 本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。用語については、取扱説明書（詳細版）の「用語の説明」をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。
- 本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

## 録画メディアを表すマーク

本書や本機の操作画面などでは、録画メディアを以下の通り表現しています。

| | |
|---|---|
| USB-HDD | USBハードディスク／外付けハードディスク／外付けHDD |

# 安全のために必ずお守りください

**この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。**

## ■ 図記号について

■ この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| 警告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの |
| 注意 | 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの |

● 図記号と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

▷ **図記号の例**

● 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

▷ **図記号の意味**

| | |
|---|---|
| 必ず指示に従い、おこなってください。 | 絶対にぬれた手で触れないでください。 |
| 絶対に分解・修理はしないでください。 | 破裂に注意してください。 |
| 絶対にぬらさないでください。 | 絶対におこなわないでください。 |
| 高温に注意してください。 | 絶対に水場では使用しないでください。 |
| 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 | 注意してください。 |
| 絶対に触れないでください。 | |

**※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。**

**家庭用品品質表示法に基づく表示**
**使用上のご注意**
- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

**表示者**　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

## ■ 眼精疲労について

● 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

# ⚠警告

## ■ ご使用になるとき

**本機を屋外で使用しない**
- 屋内用として設計されています。

禁止

**本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない**
- 落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因となることがあります。
- 特にお子様に対する多くの傷害は、以下のようなかんたんな予防措置をとることで回避できます。
  - スタンドは本機に付属のスタンドを使用してください。
  - 本機を安全に保持できるテレビ台などの家具を使用してください。
  - 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置してください。
  - 本機と家具の両方を適切な設置場所に固定することなく、背の高い家具(食器棚や書棚など)に本機を設置しないでください。
  - 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布やその他の材質のものを敷かないでください。
  - 本機やリモコンを操作するために、本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ることの危険性をお子様に教育してください。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも、上記と同様の対応が必要です。

禁止

**本機に布団をかけたり、火のついたもの(ろうそく・線香・アロマなど)を置かない**
- 熱がこもってケースが変形することがあります。また、火災や、やけどの原因となります。
- 裸火が倒れた場合は、火災の原因となります。

禁止

**本機を水でぬらさない**
**水滴のかかる場所に置かない**
**水などの入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品など)を置かない**
- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

水ぬれ禁止
水場での使用禁止

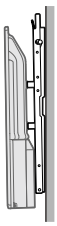
**本機を改造または分解しない**
- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

改造・分解禁止

**アンテナは送配電線から離れた場所に設置する**
- 倒れた場合は、感電事故の原因となります。

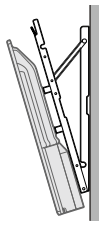
指示

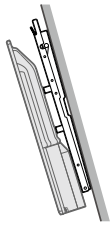
FL-32H1070
**壁掛けもしくは壁寄スタンドなどをご利用される場合には、垂直な設置面に取り付け角度0°で設置する**
- 本機の取り付け角度は(垂直な設置面に対して)0°のみに対応しています。取り付け金具で傾けた設置をすると、テレビ本体や部品並びに接続機器等の脱落による破損だけでなく、ケガや床などが損傷する原因となります。



指示

FL-32H1070
**壁掛けもしくは壁寄スタンドなどをご利用される場合には、**
- 取付金具で傾けた設置はしない
- 傾斜した設置面へは設置しない





- 取付金具で傾けた設置や、傾斜した設置面への設置をすると、テレビ本体や部品並びに接続機器等の脱落による破損だけでなく、ケガや床などが損傷する原因となります。

禁止

**本機にダストスプレー(エアダスター)を使用しない**
- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

禁止

**miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない**
- miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に挿し込んでください。
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

禁止

## ■ 乾電池の取り扱い

**乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしているものは使用しない**
- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

禁止

**乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない**
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

注意

## ■ 電源コード・プラグの取り扱い

**電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。**

**指定(表示)された電源電圧(交流100 V)以外で使用しない**
- 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているか、もう一度確かめてください。

禁止

**電源プラグのほこりなどはとる**
- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布で拭いてください。

ほこりをとる

**雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない**
- 落雷すると感電することがあります。

接触禁止

# 警告

**ぬれた手で電源コードを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない**

ぬれ手禁止

- 水は電気を通すため、感電の原因となる恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

**電源コードを正しく使用する**

- 束ねない　- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

指示

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れて発熱し、焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

**電源コードを傷つけない**

- 破損させない　- 加熱しない
- 引っぱらない　- 加工しない
- 曲げない　- 切断しない
- ねじらない　- 重いものをのせない

禁止

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる**

指示

- 発火の原因となります。

**電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない**

禁止

- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。

**本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない**

禁止

- 火災・感電の原因となります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない**

禁止

- 感電・火災の原因となります。

**電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない**

禁止

- 感電の原因となります。

**電源コードを動かすと電源がオンになったりオフになったりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない**

禁止

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。

**本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く**

使用中止　プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## ■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)

**本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く**

使用中止　プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。

**本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く**

使用中止　プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

**画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

**電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は、電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

# 注意

## ■ 設置・移動するとき

**本機の開梱、スタンドの取り付けは必ず大人2人以上で作業する(32型以上)**

注意

- 本機にスタンドを取り付けないと製品が転倒し、ケガの原因となったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

**海水や塩害に注意**

塩害注意

- 海辺にお住まいの方は、窓からの海水や塩害に注意してください。

**本機を車の中で使用しない**
**自動車内に放置しない**

使用禁止

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。

次ページへつづく

# ⚠注意

**本機を次のような場所に置かない**
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

● 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

設置禁止

**本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない**
● バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてケガの原因となることがあります。
● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

**本機の通風孔をふさがない**
- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、上面30 cm以上、背面20 cm以上、左右10 cm以上の間隔をおく

● 内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

**本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない**
● 故障の原因となることがあります。

禁止

**本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする**
● 動いたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

指示

**アンテナ工事は専門業者にお願いする**
● アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

指示

**安定した場所に設置する**
● 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、ケガの原因となることがあります。

正しく設置する

## ■ 電源コード・プラグの取り扱い

**お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く**
● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

**次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく**
- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

● 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

**本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす**
● そのまま移動するとコードに傷がつき、火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

**電源コードを引っ張らない**
● 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
● 必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

**電源コードを引き回さない**
● 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。

禁止

**電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない**
● 発煙・発火の原因となります。

禁止

**電源コードを熱器具に近付けないように注意**
● コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

高温注意

## ■ ご使用になるとき

**年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する**
● 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
● 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

掃除

**液晶パネルの破損**
● 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。ケガをする恐れがあります。

禁止

## ■ 乾電池の取り扱い

**乾電池は正しく挿入する**
● プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる。
● 誤って挿入すると破裂・液漏れによりケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

正しく入れる

**指定されていない乾電池を使用しない**
● 破裂・液漏れにより、火災・ケガの原因となることがあります。

使用禁止

**新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない**
● 破裂・液漏れにより、火災・ケガの原因となることがあります。

使用禁止

**乾電池の取り扱いに注意**
- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

● 破裂する危険があります。

禁止
破裂注意

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

## 置き場所や取り扱い

- 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 非常時をのぞいて、電源がオンの状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源プラグを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器（USBハードディスクなど）を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域（VHF：90 MHz～222 MHz、UHF：470 MHz～770 MHz、BS：1032 MHz～1336 MHz、CS：1595 MHz～2071 MHz、BS4K：2224 MHz～2681 MHz、110度CS4K：2748 MHz～3224 MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話、電子レンジ、WiFiルーターなどの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源をオフにしておいてください。
- ふだん使用しないときは電源をオフにしてください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
  (This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

# 安全のために必ずお守りください(つづき)

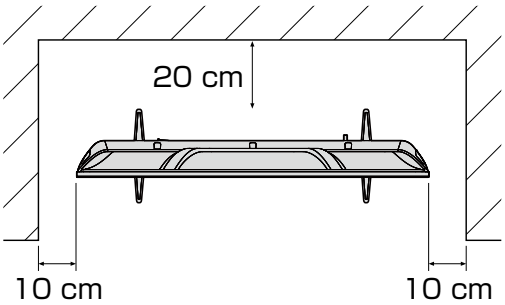
## 液晶パネルについて

■ 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
■ 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。(液晶パネルは素手で触らないようにしてください。)
■ 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因となります。
■ 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

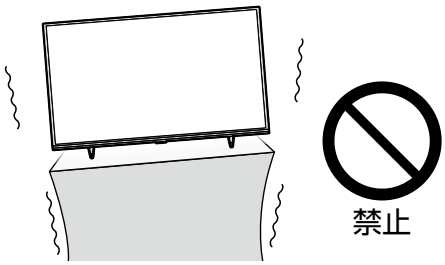


## 本機の設置についてのお願い

■ 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
■ 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。湿気の多い場所、加湿器の近くには置かないでください。故障の原因となります。
■ スタンドを取り付けて設置する際には、最低限、下図のスペースを設けてください。




■ 不安定な場所に置かないでください。台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。




ご注意
● 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置を避けてください。
● 本機の下へ物をはさまないでください。

## 転倒防止についてのお願い

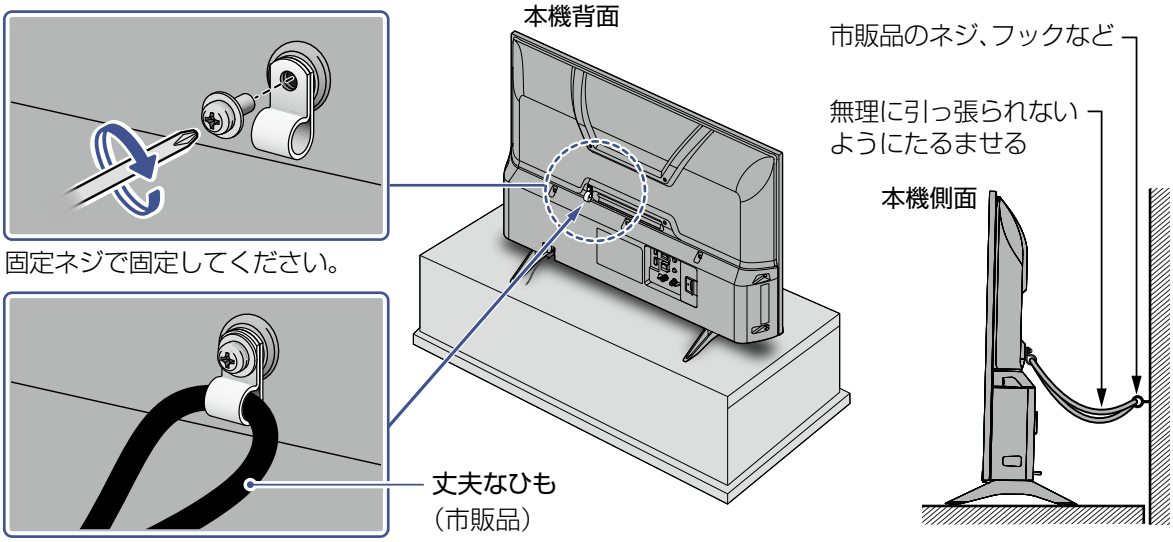
### ⚠注意

**衝撃などで本機が転倒すると、ケガの原因となることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるケガなどの危害を軽減するためのものですが、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。**

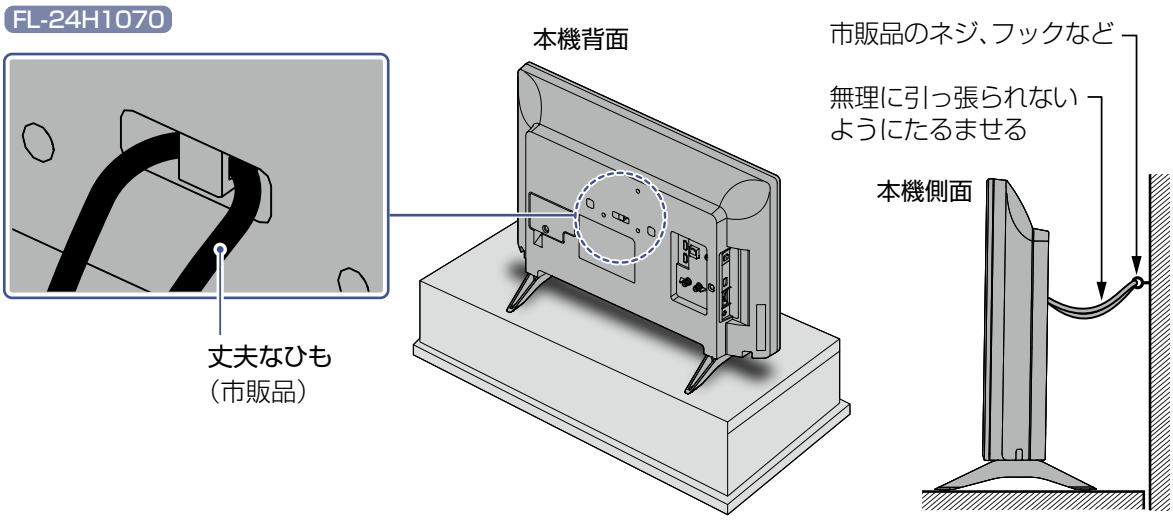
### 壁や柱などの安定した場所への固定

下図の通り、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも（市販品）で確実に取り付けてください。

FL-32H1070




FL-24H1070

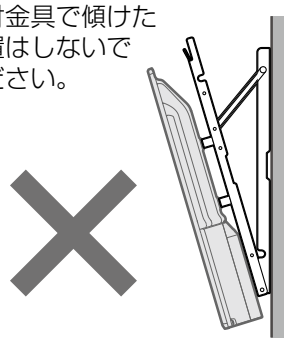



ご注意
- 本機を再び移動させるときは、ネジをはずしてから移動させてください。
- ネジの取り付けは確実におこなってください。

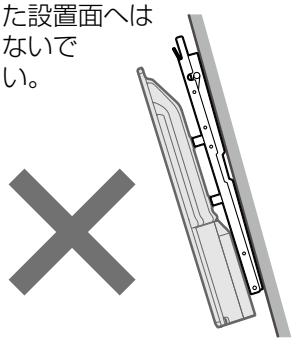
## 壁掛け金具取り付け時について

### 壁掛け金具(市販品)取り付け時の注意

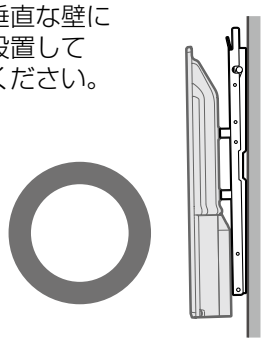
- **壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。**
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全の場合は、ケガの原因となります。
- 壁掛け金具(市販品)を取り付ける際は、壁掛け金具に付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛け金具に付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛け金具取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定しています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状／サイズによっては壁面と干渉しご使用できません。設置前に必ずご確認ください。
- FL-32H1070 壁掛けもしくは壁寄スタンドなどをご利用される場合には、垂直な設置面に取り付け角度0°で設置してください。
- FL-32H1070 取付金具で傾けた設置はしないでください。

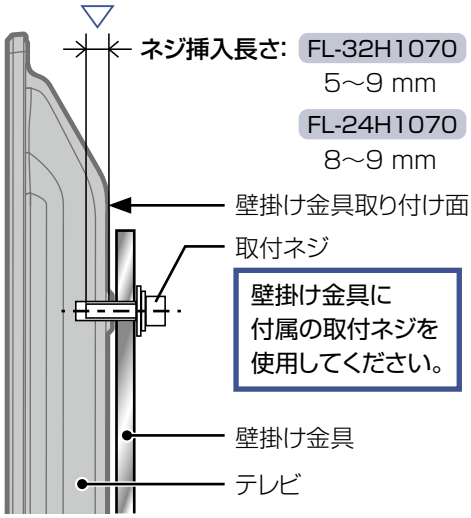


- FL-32H1070 傾斜した設置面へは設置しないでください。



- FL-32H1070 垂直な壁に設置してください。






取り付け部断面図の一例

### ⚠注意

**壁掛け金具取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。**

ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してケガの原因となることがあります。 また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。

お知らせ
- 本機で推奨される壁掛け金具については、当社製品情報サイトの「壁掛け金具」ページ(funai.jp/cs/wall-mount/)でご確認ください。

## リモコンについて

■ アルカリ乾電池ご使用時の注意
- アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどをする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

■ 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池（アルカリ乾電池とマンガン乾電池など）を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱・破裂・発火の原因となりますのでご注意ください。
■ 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
■ 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池（1.5 V 2本）をお使いください。
■ 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
■ 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

## お手入れについて

■ キャビネットや液晶パネルの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
■ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭き取り、最後にかわいた柔かい布でから拭きしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書きをよくお読みください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

## 修理について

■ 本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。P.50

## アンテナについて

■ 妨害電波を避けるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

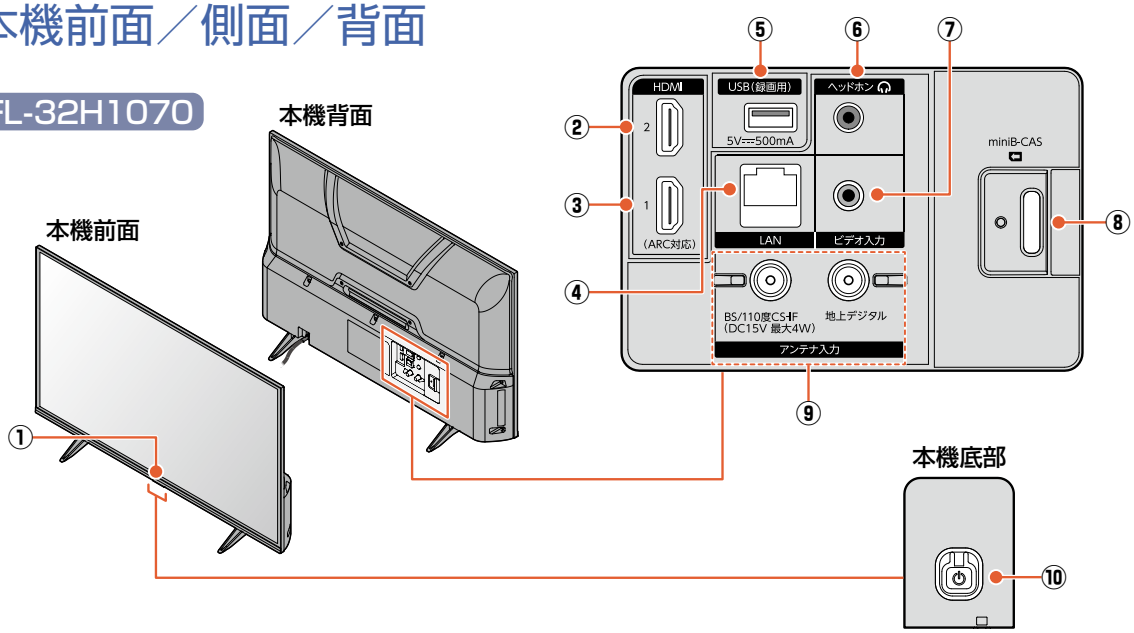
### 天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送がおこなわれている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

# 各部のなまえとはたらき

## 本機前面／側面／背面

FL-32H1070




**①電源LED／リモコン受光部**
青点滅……本機が電源オン(起動中)の状態です。
青点灯……本機が電源オンの状態です。
消灯……本機が電源オフの待機状態、または
電源LED を 切 にした状態です。

**②HDMI 2端子**

**③HDMI 1端子**
(ARC対応)

**④LAN端子**

**⑤USB(録画用)端子**
USBハードディスクを接続します。

**⑥ヘッドホン出力端子**
スピーカーとヘッドホンで個別に音量が設定できます。
スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「ヘッドホン出力」を「スピーカー非連動」に切り換えてください。

**⑦ビデオ入力端子※**
(4極ミニジャック)
映像･音声ケーブルを接続します。

**⑧miniB-CASカードスロット**
付属のminiB-CASカードを入れます。P.17
miniB-CASカードの入れかたについては、付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。

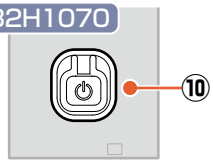
**⑨地上デジタル、BS･110度CSアンテナ入力端子**
(左)BS･110度CS入力　(右)地上デジタル入力

**⑩電源ボタン／本体ボタン**
短押しまたは長押しで操作します。
**<以下の操作が可能です>**
電源オン･オフ／入力切換／音量変更／チャンネル変更／再起動
くわしくは「電源ボタン／本体ボタン操作方法」をご覧ください。

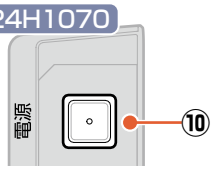
※ビデオやDVDプレーヤーなどと接続する際は、片方が4極ミニプラグの映像･音声ケーブルをご使用ください。P.21

## 電源ボタン／本体ボタン操作方法

FL-32H1070



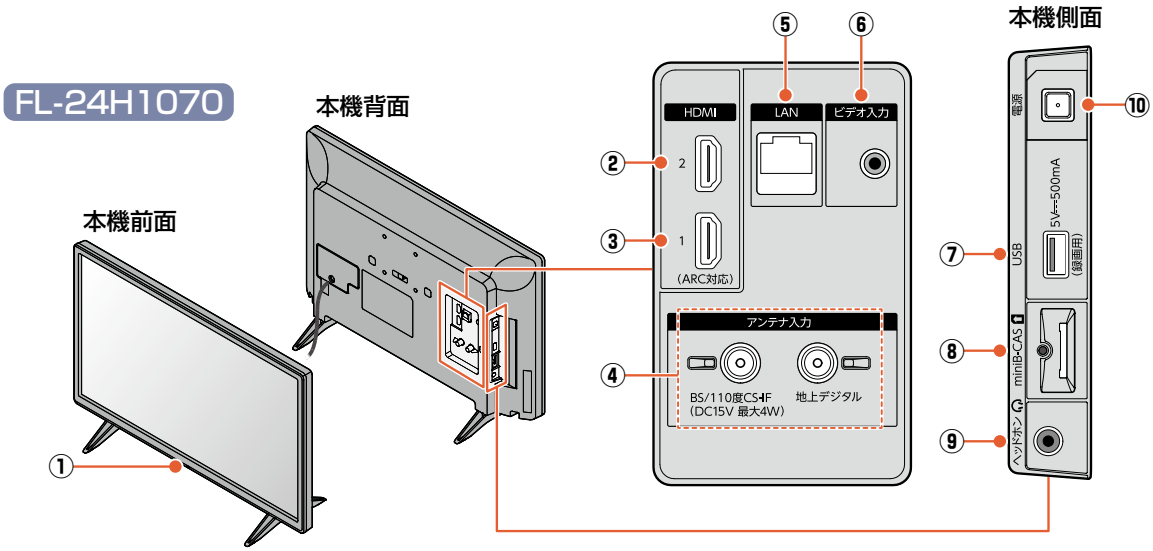

FL-24H1070




※FL-24H1070の本体ボタンは側面にあります。P.15

| | 電源オフ時 | 電源オン時 |
|---|---|---|
| 短押し | 本機の電源をオンにする | 最初に押すと機能メニューが表示され、次に押すと以下の機能が切り換わります。<br>→電源オフ → 音量アップ → 音量ダウン → 入力切換 → チャンネルアップ → チャンネルダウン → 再起動 → 終了 |
| 長押し | — | 選んだ機能を実行します。(決定ボタンとして機能) |

● P.15の「お知らせ」と「ご注意」もあわせてご覧ください。




**①電源LED／リモコン受光部**
青点滅……本機が電源オン(起動中)の状態です。
青点灯……本機が電源オンの状態です。
消灯……本機が電源オフの待機状態、または
電源LED を 切 にした状態です。

**②HDMI 2端子**

**③HDMI 1端子**
(ARC対応)

**④地上デジタル、BS・110度CSアンテナ入力端子**
(左)BS・110度CS入力　(右)地上デジタル入力

**⑤LAN端子**

**⑥ビデオ入力端子※**
(4極ミニジャック)
映像・音声ケーブルを接続します。

**⑦USB(録画用)端子**
USBハードディスクを接続します。

**⑧miniB-CASカードスロット**
付属のminiB-CASカードを入れます。P.17
miniB-CASカードの入れかたについては、付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。

**⑨ヘッドホン出力端子**
スピーカーとヘッドホンで個別に音量が設定できます。スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「ヘッドホン出力」を「スピーカー非連動」に切り換えてください。

**⑩電源ボタン／本体ボタン**
短押しまたは長押しで操作します。
**<以下の操作が可能です>**
電源オン・オフ／入力切換／音量変更／チャンネル変更／再起動
くわしくは「電源ボタン／本体ボタン操作方法」をご覧ください。P.14

※ビデオやDVDプレーヤーなどと接続する際は、片方が4極ミニプラグの映像・音声ケーブルをご使用ください。P.21

**お知らせ**
- 電源ボタンで電源オフにすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新がおこなわれる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。

**ご注意**
- 接続は電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグ本体を持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

次ページへつづく

# リモコン

▷ **リモコンの使用範囲について**

リモコンは、本機のリモコン受光部に正しく向けてください。使用範囲は角度により異なります。

**距離**・・・本機正面から7 m以内

**角度**・・・本機正面から上約15°、下約30°以内（5 m以内）、左右約30°以内（5 m以内）

● リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

## ①入力切換

- 押すごとに入力を切り換えます。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「外部機器の映像を見る（入力切換）」をご覧ください。
- 本機側面または背面の機能切換ボタンで切り換えることもできます。

**録画** P.34

**電源** P.30

- 電源のオンやオフができます。
- 本機側面または背面の電源ボタンでオン、オフにすることもできます。

## ②数字ボタン

- 数字ボタンを押すと、チャンネルを直接選べます。

## ③チャンネル P.30

- チャンネルボタンを押すと、視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
- ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。

**地上**

- 地上デジタル放送に切り換えます。

**BS**

- BSデジタル放送に切り換えます。

**CS**

- CSデジタル放送に切り換えます。

**音量** P.30

- ＋で音量を大きく、－で音量を小さくします。

## ④番組表 P.32

**メニュー**

- メニューを表示します。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「メニュー機能の使いかた」をご覧ください。

**消音**

- 音を一時的に消し、もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ⑤画面表示

- チャンネル番号、放送時間、番組名、音声の種類、録画情報、現在時刻などを画面に表示します。

**録画一覧** P.37

**決定／▲・▼・◀・▶**

- メニューを表示している状態で決定や選択の動作をおこないます。

**戻る**

- メニューを表示している状態で1つ前の画面に戻ります。

**リンク**

- HDMI-CEC対応機器を本機のリモコンで操作する。P.21

## ⑥カラーボタン（青／赤／緑／黄）

- 番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用する。
- 画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。

## ⑦早戻し／再生／早送り／スキップダウン／停止／一時停止／スキップアップ

- 録画した番組を見るときに使用します。P.37

## ⑧ｄデータ

- テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示します。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「データ放送を見る」をご覧ください。

**字幕**

- 字幕の言語や、表示の有無を設定します。
- 一部録画したものでも字幕表示の操作ができます。

**音声切換**

- くわしくは取扱説明書（詳細版）の「音声を切り換える」をご覧ください。

**おやすみタイマー**

- くわしくは取扱説明書（詳細版）の「自動的に電源をオフにする（おやすみタイマー）」をご覧ください。

**ご注意**

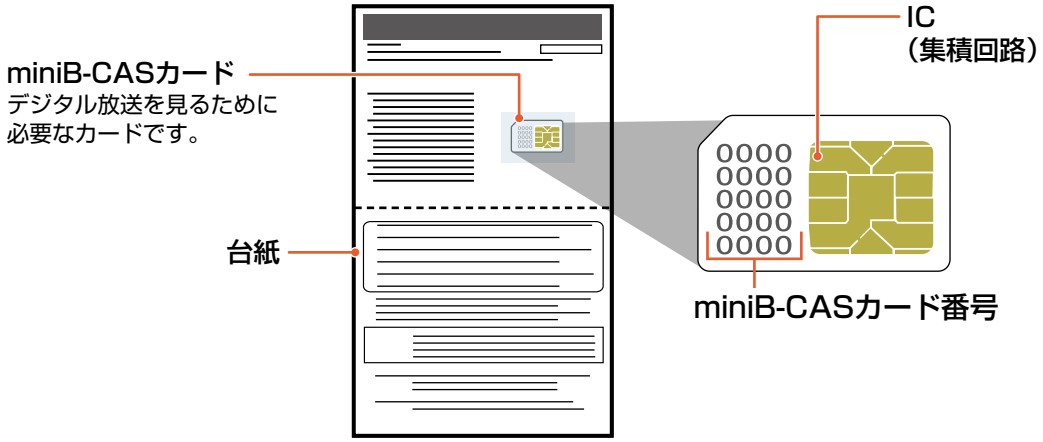
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池（1.5 V 2本）をお使いください。
- リモコンが正しく操作できないときは、「困ったときは」をご覧ください。P.44
- 乾電池の入れかたについて、くわしくは**はじめるガイド**の「リモコンを準備する」をご覧ください。
- 本機のリモコンで、本機以外のテレビの操作はできません。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- 画面に操作メニューが表示されている場合は、その操作に対応したボタンが有効となります。連続して他の操作をおこなう場合は、その操作メニューの表示が消えてから操作してください。

# miniB-CASカードについて

番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。
デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に挿し込んでおくことをおすすめします。

**本機に付属しているminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください**

miniB-CASカード挿入口には、正規のminiB-CASカード以外のものを挿入すると
本機が故障したり破損したりすることがあります。




**お知らせ**

- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている内容をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。お客様の責任でminiB-CASカードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されますので、取り扱いには十分ご注意ください。
  miniB-CASカードについてのお問い合わせ先（2023年10月現在）
  **（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　　カスタマーセンター**
  TEL　0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
  受付時間 10:00～20:00（年中無休）
  https://www.b-cas.co.jp/

**ご注意**

- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させたりしないでください。または分解や加工をしないでください。
- miniB-CASカードに重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- miniB-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面に「miniB-CASカードに関するメッセージ」が表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。また、IC（集積回路）部は手や指で触れないでください。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。

## miniB-CASカード情報を確認する

**メニュー を押して、放送受信設定 ➡ 共通設定 ➡ miniB-CASカード情報 を選んで 決定 を押す**

# アンテナや外部機器をつなぐ

## アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
以下のA～Cの接続方法から、接続するテレビやご家庭のアンテナ端子の種類に合ったものを選び、接続してください。

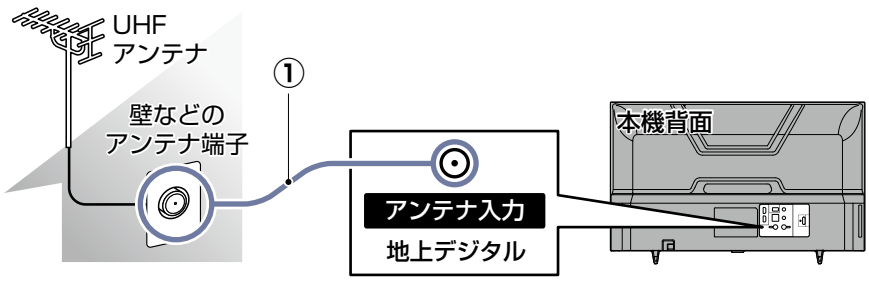
ご注意

- プラスチック製アダプターをご使用の場合は、ノイズが入る可能性があります。F型接栓をご使用ください。

- BSアンテナに電源を供給する場合は、アンテナ電源設定をおこなってください。電源設定を正しくおこなわないと、受信ができないことがあります。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「受信状態の確認をする」をご覧ください。



### A　壁のアンテナ端子が1つで、地上デジタル放送のみを視聴する場合

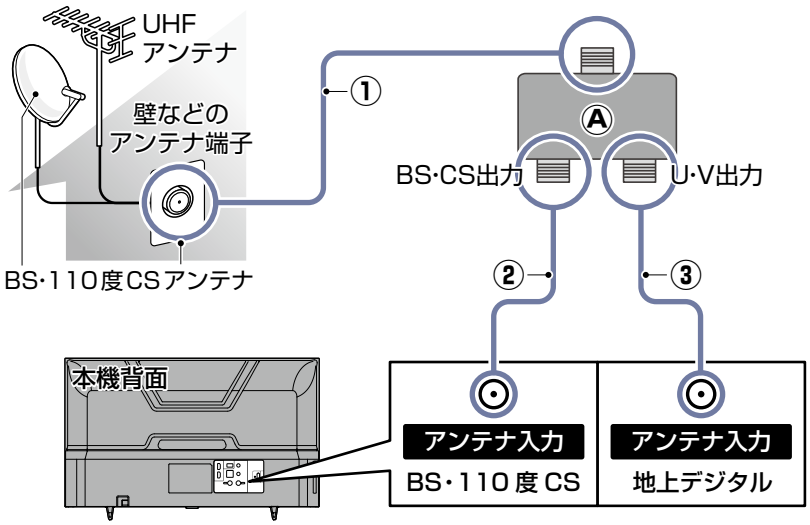



**接続に必要なもの（すべて市販品）**

① 地上デジタル放送アンテナケーブル※

※ シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

### B　壁のアンテナ端子が1つで、地上デジタル放送とBS･110 度CSデジタル放送を視聴する場合

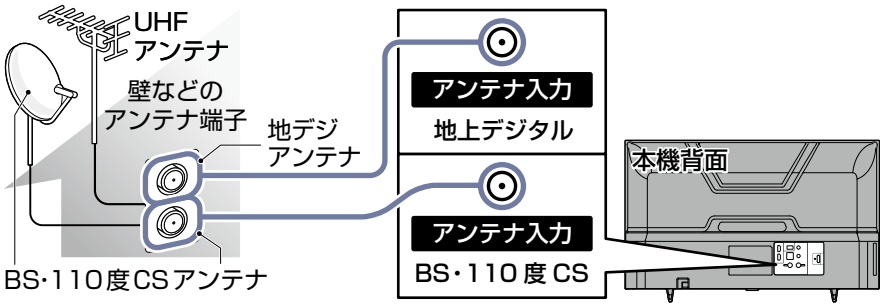



**接続に必要なもの（すべて市販品）**

① BS・110 度 CS デジタル放送アンテナケーブル
② BS・110 度 CS デジタル放送アンテナケーブル
③ 地上デジタル放送アンテナケーブル※
Ⓐ BS･CS ／ U･V 分波器

※ シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

### C　壁のアンテナ端子が2つの場合




**接続に必要なもの（すべて市販品）**

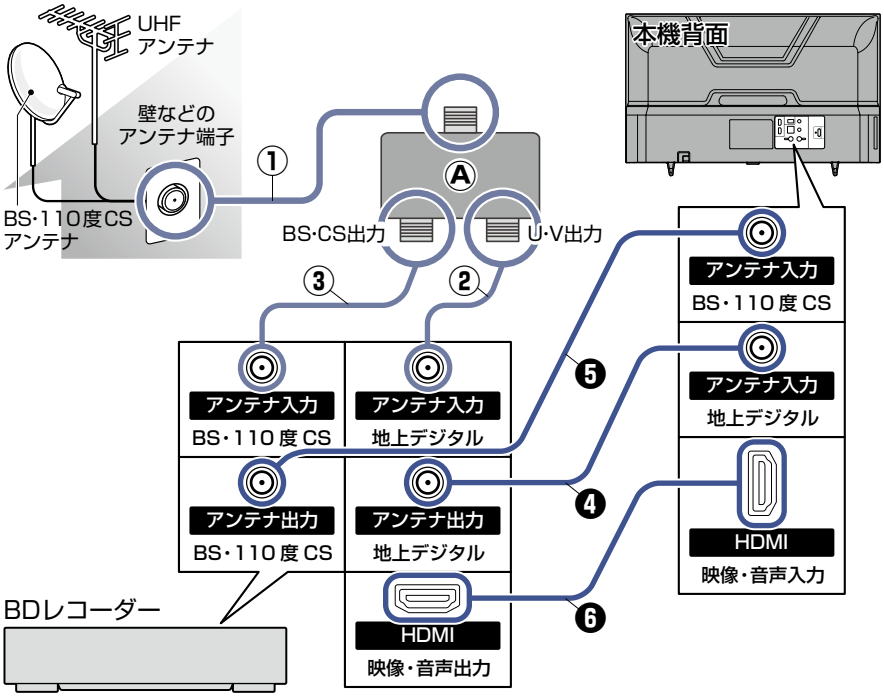
① BS・110度CS デジタル放送 アンテナケーブル

② 地上デジタル放送 アンテナケーブル※

※ シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

## 外部機器をつなぐ

### BDレコーダーとつなぐ




**接続に必要なもの（すべて市販品）**

① BS･110度CS デジタル放送 アンテナケーブル

② 地上デジタル放送 アンテナケーブル※

③ BS･110度CS デジタル放送 アンテナケーブル

❹ 地上デジタル放送 アンテナケーブル

❺ BS･110度CS デジタル放送 アンテナケーブル

❻ HDMI ケーブル

Ⓐ 分波器

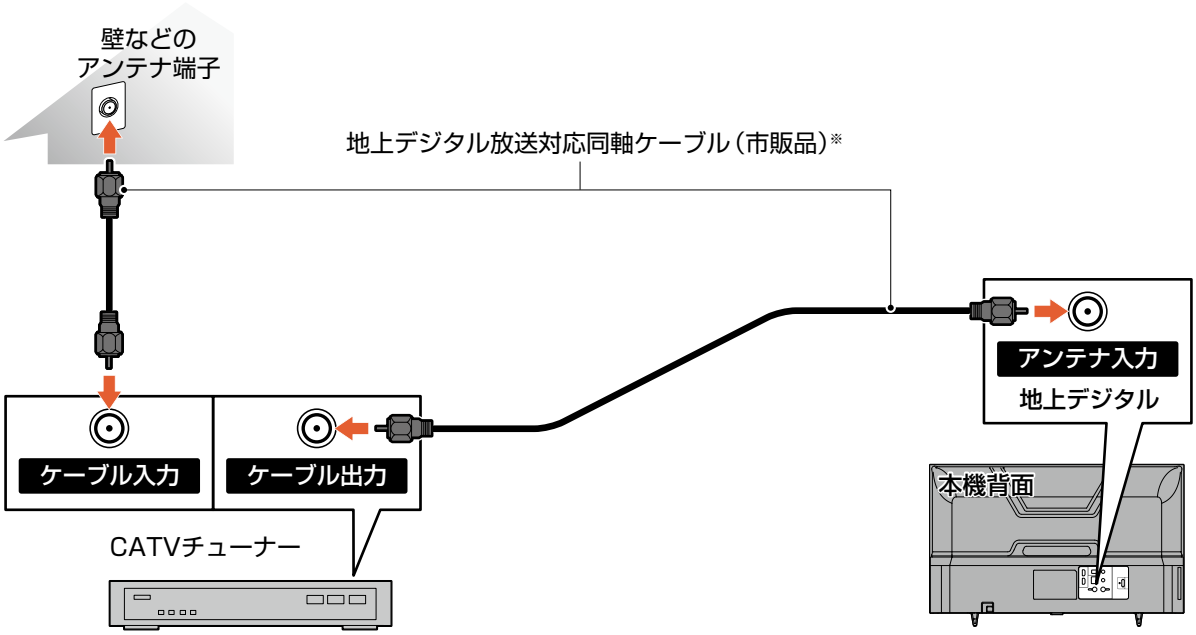
※ シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

この接続図は、接続方法の一例です。くわしくはレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

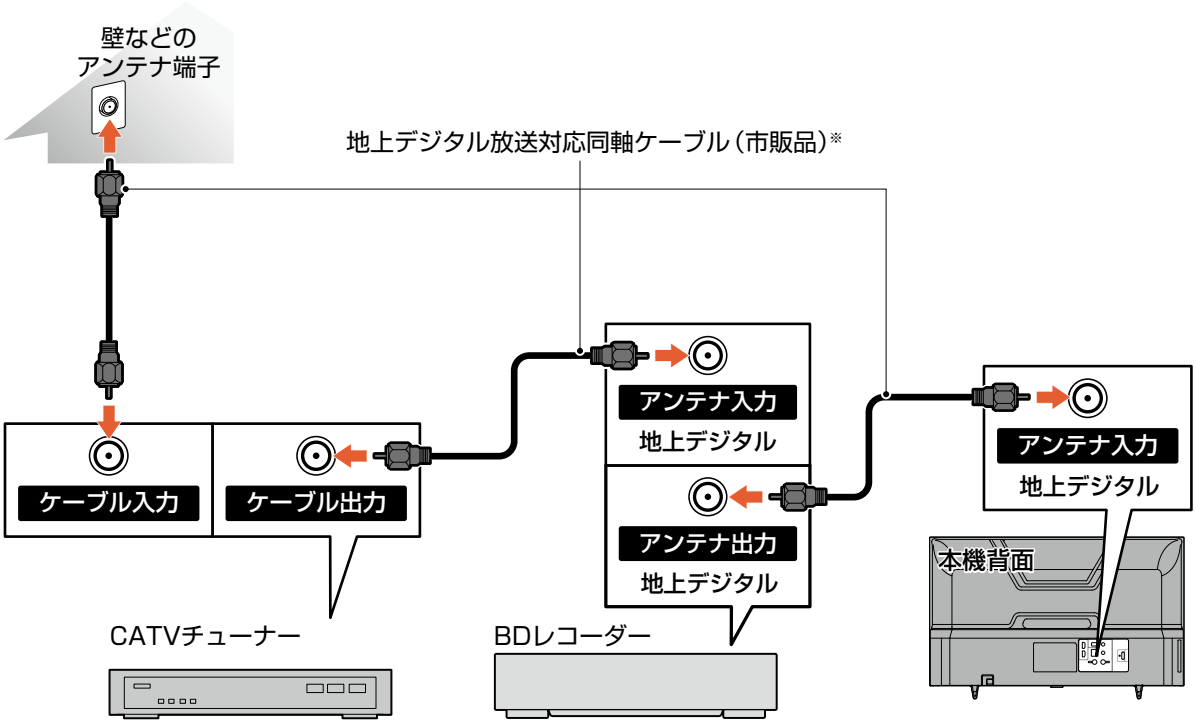
# アンテナや外部機器をつなぐ（つづき）

## CATV（ケーブルテレビ）チューナーとつなぐ

### ■ テレビに直接つなぐ場合



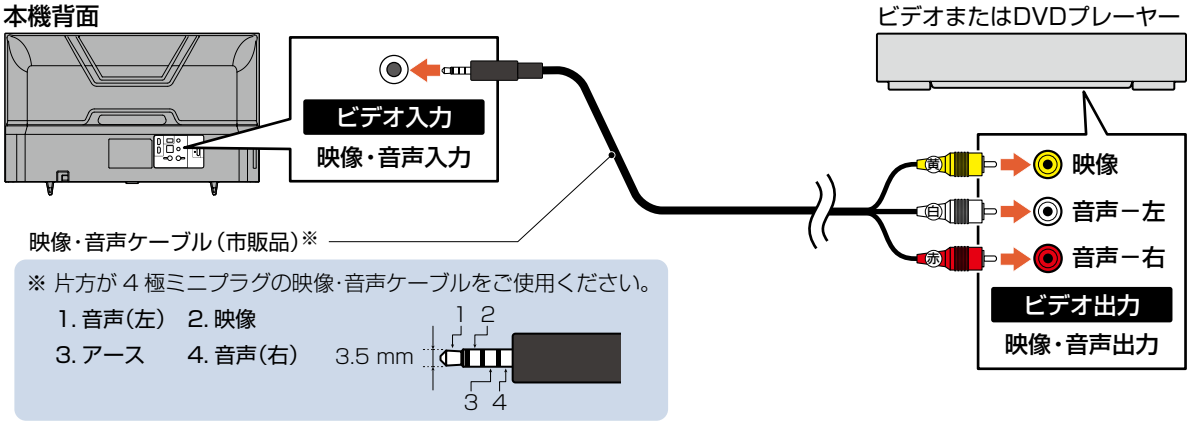

### ■ BDレコーダーを通じてつなぐ場合




※ シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

この接続図は、接続方法の一例です。くわしくはCATVチューナーの取扱説明書をご確認ください。

## ビデオまたはDVDプレーヤー(HDMI出力が無い機器)とつなぐ



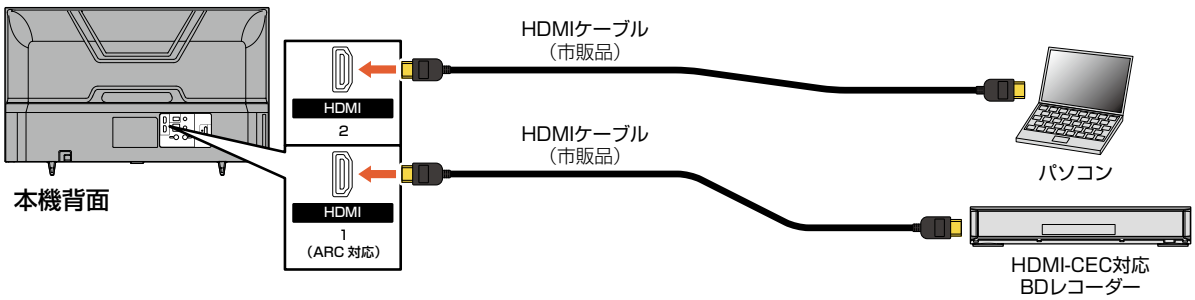

**お知らせ**
- 映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。この場合は、取扱説明書(詳細版)の「画面モードを選ぶ」をご覧ください。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で**[ビデオ]**を選んでください。

**ご注意**
- ビデオまたはDVDプレーヤーの接続について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオまたはDVDプレーヤー側のテレビ画面サイズの設定を16:9にしてください。
  4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定すると適正な画面サイズで見ることができません。

## HDMI機器とつなぐ

外部機器と本機を接続する場合は、**外部機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子**をHDMIケーブル(市販品)でつないでください。
また、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器にHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。(船井電機製のBDレコーダー側では、機器制御を有効に設定してください。)
HDMI機器連動機能について、くわしくは取扱説明書(詳細版)の「HDMI-CEC機能を使う」をご覧ください。

例:HDMI-CEC対応BDレコーダーやパソコンをHDMI入力端子に接続する




この接続図は、接続方法の一例です。



次ページへつづく

# アンテナや外部機器をつなぐ（つづき）

お知らせ

- 対応している映像信号
  480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p 24 Hz
- 対応している音声信号
  種類：リニアPCM
  サンプリング周波数：48 kHz／44.1 kHz／32 kHz
- HDMI機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で**[HDMI1]**（または**[HDMI2]**）を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- 他社製の機器をHDMI ケーブルで接続した場合は、HDMI-CEC対応機器と認識し、接続機器側の操作の一部（電源連動やアンプの音量制御）ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。

ご注意

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンと接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI端子の接続を変更した場合（HDMI1入力端子からHDMI2入力端子に挿し替えた場合など）は、本機の電源を入れなおして入力切換で変更後のHDMI入力を選んで、HDMI-CEC対応機器からの映像が映っていることを確認してください。
- HDMI-CEC機能を中止するために**[HDMI機器制御]**を**[切]**にした場合は、本機の電源を入れなおしてください。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「接続機器設定をする」をご覧ください。

## HDMI-CEC対応機器を操作する

HDMI-CECに対応したBDレコーダーやAVアンプを本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作（再生など）ができます。HDMI-CEC対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。（仕様は予告なく変更する場合があります。）

### ▷ 本機でHDMI-CEC機能を使うには

本　機…メニューを押し、機能設定 ➡ 接続機器設定で各設定を入にしておいてください。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「接続機器設定をする」をご覧ください。

接続機器…接続機器側のHDMI-CEC設定を入にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

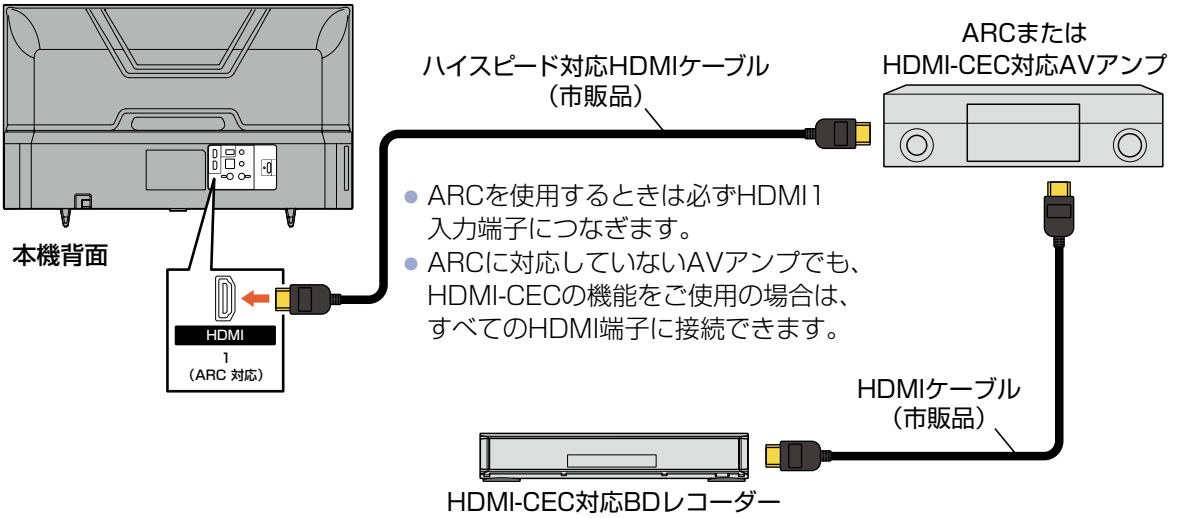
## ARC対応のオーディオ機器とつなぐ

### ▷ ARC（オーディオリターンチャンネル）について

テレビとオーディオ機器（AVアンプ、サウンドバーなど）をHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもオーディオ機器もARCに対応している必要があります。また、本機はHDMI1入力端子のみARCに対応しています。

例：ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力端子に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「HDMI-CEC対応AVアンプの音量を調節する」をご覧ください。
接続後は、**[HDMI 機器制御]**を**[入]**に設定する必要があります。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「接続機器設定をする」をご覧ください。




この接続図は、接続方法の一例です。

**ご注意**

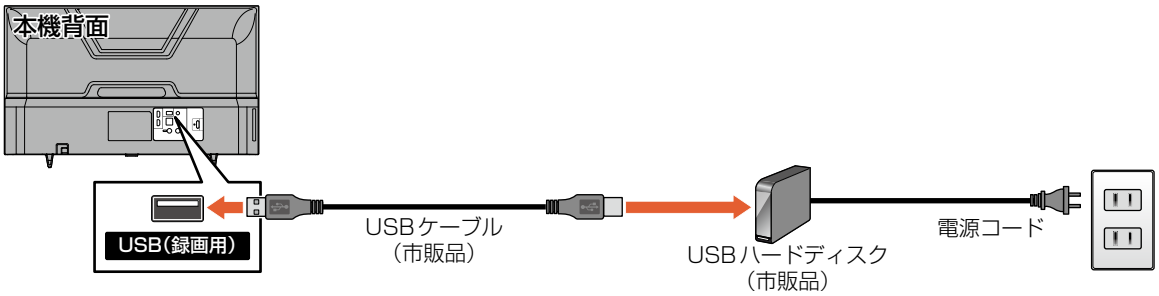
- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、BDレコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源がオフになっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。電源オンやスタンバイモードにしてください。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、**HDMI 1入力端子**につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI-CEC対応AVアンプがPCMしか対応していないときは、
  **[メニュー]** ➡ **[音声設定]**で**[デジタル音声出力]**を**[PCM]**に設定してください。
  くわしくは取扱説明書（詳細版）の「デジタル音声出力設定をする」をご覧ください。
- **[外部アンプ連動]**を**[切]**に設定しているときは リンク を押し、**[外部アンプ連動]**を**[入]**に設定してください。
  くわしくは取扱説明書（詳細版）の「HDMI-CEC対応AVアンプの音量を調節する」をご覧ください。



次ページへつづく

## USBハードディスクをつなぐ

■ バスパワー型のUSBハードディスクは、本機のUSB（録画用）端子からの電源供給だけでは正しく動作しないことがあります。バスパワー型のUSBハードディスクをご使用の場合は、各USBハードディスクメーカー指定の給電用ACアダプターのご使用を推奨します。（ご使用のUSBハードディスクがACアダプターによる給電に対応していることをご確認ください。）
■ USBハードディスク（市販品）（最大容量4 TB）は必ずUSB（録画用）端子に接続してください。
■ USBハードディスクが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSBハードディスクの電源をオンにしてください。




**次のようなことはおこなわないでください。USB機器の故障やデータが消失する恐れがあります。**

■ USB機器の動作中に、USBハードディスクの接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。
■ USB機器の動作中に、USBハードディスクや本機の電源をオフにしない。

USBハードディスクは、製品に付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

### ▷ 録画用USBハードディスクを接続したあとは

● 本機にUSBハードディスクを録画用として登録してください。未登録のUSBハードディスクを接続すると、確認画面を表示しますので、画面の案内に従って登録してください。（本機に登録していないUSBハードディスクはお使いになれません。）
あとで登録することもできます。
メニューを押し、機能設定 ➡ 接続機器設定 ➡ HDD設定 ➡ USB-HDD 登録設定 から 未登録 のUSBハードディスクを選んで登録してください。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「USBハードディスクを登録する」をご覧ください。

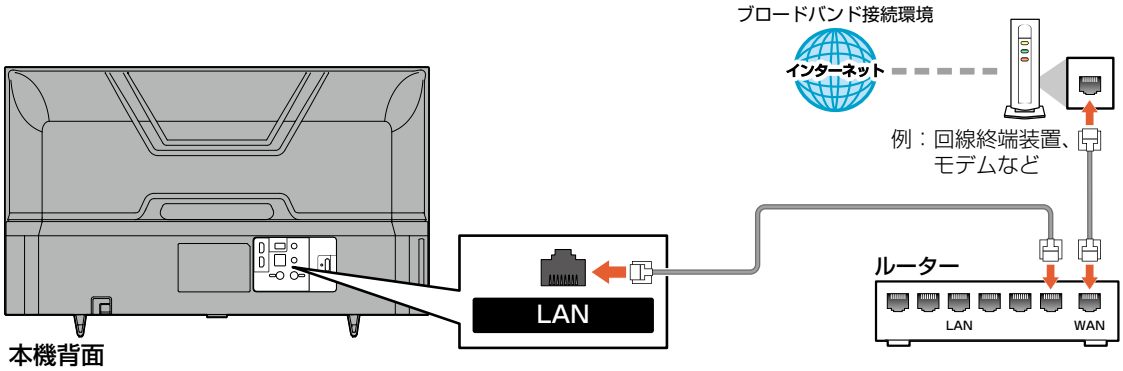
### ▷ USBハードディスクを取りはずすには

セルフパワー型のUSBハードディスクを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源をオフにしてからUSBハードディスクの電源をオフにして取りはずしてください。**[クイック起動]**を**[入]**に設定している場合は、設定を**[切]**にしてから電源オフにしてください。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「クイック起動を設定する」をご覧ください。
USBハードディスクの動作中に本機の電源をオフにしたり、USBハードディスクの接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本機およびUSBハードディスクが故障したりする原因となります。

お知らせ
● USB（録画用）端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

# ネットワークをつなぐ

デジタル放送のデータ放送をおこなっている放送局との双方向通信は、ブロードバンド接続環境をお持ちの場合は、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。
サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。




### ▷ すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - 必要な機器の準備
  - ブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターなどの設定はできません。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

### ▷ ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約（有料）する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者へお問い合わせください。

**ご注意**
- LANケーブルは、カテゴリー5e以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

**お知らせ**
- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、
  メニュー ➡ **［機能設定］** ➡ **［その他の設定］** ➡ **［ネットワーク接続設定］**で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

# 「かんたん一括設定」をする

接続が終わって初めて本機の電源をオンにしたときは、テレビ画面に **[かんたん一括設定]** の開始画面が表示されます。
画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- **[かんたん一括設定]** は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯におこなってください。
  チャンネルが飛ばされるように設定され、視聴可能なチャンネルが選べなくなります。
- **[かんたん一括設定]** 実行中は、電源プラグを抜いたり電源をオフにしたりしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、**[かんたん一括設定]** をやりなおしたいときは取扱説明書（詳細版）の「かんたん一括設定で再設定する」をご覧ください。

## 1 画面に表示されている準備が完了していることを確認し、次へ が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

▷ **アンテナ線の接続のしかたについては**
P. 18 ～ P. 19 をご覧ください。

▷ **miniB-CASカードの入れかたについては**
付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。
miniB-CAS カードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。

| ⚠警告 | miniB-CASカードは幼児の手の届くところに放置しないでください。<br>万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。 |
|---|---|

## 2 次へ が選ばれている状態で、決定 を押す

### 地域設定

## 3 1 ～ 10/0 で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、「次へ」が選ばれている状態で、決定 を押す

- 間違えたときは ◀ で戻り、入力しなおしてください。

## 4 お住まいの都道府県を選んで 決定 を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都（島部）」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県（島部）」を選びます。

## 地上デジタル設定

### 5 地上デジタル放送チャンネルスキャンの種類を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| はい | 地上デジタル放送のチャンネルをスキャンします。 |
| いいえ | 地上デジタル放送およびCATVのチャンネルをスキャンしません。 |

- スキャンが始まります。(スキャンには10分程度かかることがあります。)
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、画面に結果が表示されます。

### 6 次へ が選ばれている状態で、決定 を押す

- チャンネルスキャンの結果 で 戻る を選ぶと、地上デジタル放送のスキャンをやりなおすことができます。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは(地上デジタル放送のとき)」P.46 をご覧ください。

## BS／CS設定

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。
アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

### 7 アンテナに電源を供給するかしないかを選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 供給する | 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。主に、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。 |
| テレビ連動 | 電源オフ(待機)時は電源供給をおこないません。 |
| 供給しない | 他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、また、BS·110度CSデジタル放送用アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。主に、マンションなどの共聴受信時に設定します。 |

ご注意
- 「BS/CSデジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を「供給する」にしたときは、本機の電源プラグを常に電源コンセントに挿し込んで(通電状態にして)おいてください。
- BS·110度CSデジタル放送用アンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「供給しない」に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ
- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS·110度CSデジタル放送用アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。



次ページへつづく

# 「かんたん一括設定」をする（つづき）

## 映像モード設定

３つの主要な「映像モード」から選ぶことができます。

### 8 スタンダード以外に切り換えるかどうかを選んで 決定 を押す

お知らせ
- この手順で映像モード設定を切り換えなくても、かんたん一括設定完了後、**［メニュー］➡［機能設定］➡［画質設定］➡［映像モード］**で切り換えることもできます。
  くわしくは取扱説明書（詳細版）の「映像モードを切り換える」をご覧ください。

▷ **画面の明るさを調整するには**
**［メニュー］➡［機能設定］➡［画質設定］➡［明るさ］**でお好みの画質（明るさ）に調整することができます。
**［明るさ］**で画面を暗くすると、消費電力の節約になります。

## 完了

### 9 完了 が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

**［かんたん一括設定］**を終了します。
かんたん一括設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。
地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。
このようなときは、「困ったときは」P.44 をお読みになり、症状をご確認ください。

▷ **USBハードディスクをつなぐ場合**
お持ちのUSBハードディスクを接続するときは、「かんたん一括設定」終了後、「本機に登録されていない外付ハードディスクが検出されました。ハードディスク登録設定を行いますか？」の確認画面が表示され、引き続きUSBハードディスク本機で使うための登録がおこなえます。
USBハードディスクで番組録画を楽しむ場合は、こちらで登録しておくことをおすすめします。機器登録の操作について、くわしくは取扱説明書（詳細版）の「USBハードディスクを登録する」の手順6以降をご覧ください。
また、他のテレビやパソコンで使用されていたUSBハードディスクを登録すると、USBハードディスク内のデータはすべて消去されます。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「USBハードディスクをお使いになる前に」をご覧ください。

▷ **テレビの見かたについて**
「デジタル放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル）」P.30 をご覧ください。

▷ **お好みの数字ボタンにお好みの放送を割り当てるには**
取扱説明書（詳細版）の「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」をご覧ください。

# デジタル放送について

本機は、地上･BS･110度CSデジタルチューナーを搭載しています。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（BS･110度CS対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

## 地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）のサイト https://www.apab.or.jp/をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV（ケーブルテレビ）でも受信することもできます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が放送されているかは、CATV放送会社にお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する「CATVパススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

## BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなどは無料放送をおこなっています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

### ■「WOWOW」カスタマーセンター

TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9:00～20:00（年中無休）
https://www.wowow.co.jp/

### ■「スターチャンネル」カスタマーセンター

TEL：0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間　10:00～18:00（年中無休）
https://www.star-ch.jp/

## 110度CSデジタル放送

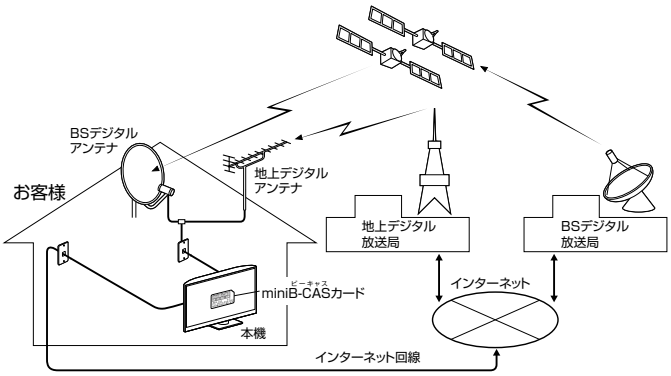
- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー !」への加入申し込みと契約が必要です。
  110度CS デジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。
  本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

### ■「スカパー !」カスタマーセンター（総合窓口）

TEL：フリーダイヤル　0120-039-888
受付時間　10:00～20:00（年中無休）
https://www.skyperfectv.co.jp

### ■双方向サービスとは

データ放送でおこなわれるサービスの１つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。P.25
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「ネットワークの設定をする」をご覧ください。

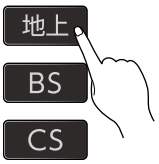


# デジタル放送を見る（地上･BS･110度CSデジタル）

## 1 電源をオンにする

● 本機の電源LEDが青点灯します。

## 2 デジタル放送の種類を選ぶ




## 3 チャンネルを選ぶ

● 数字ボタンに設定する放送チャンネルを追加したり変更したりする場合は、
取扱説明書（詳細版）の「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」をご覧ください。

### リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

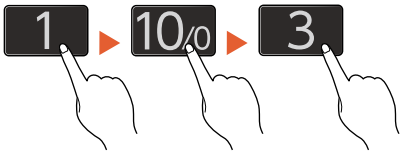
**数字ボタンを押す**

### 3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

**メニュー を押し、テレビ操作 ➡ 3桁入力 を選んで 決定 を押したあと数字ボタンで3桁入力する**

5秒以内に次の番号を押してください。

**例：103チャンネルを選ぶとき**




「0」を入力するときは 10/0 を押します。

### チャンネルを順送り／逆送りで選ぶ

**チャンネル ▲▼ ボタンを押す**

視聴しないチャンネルを飛び越し（スキップ）できます。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「チャンネルの飛び越し（スキップ）を設定する」をご覧ください。

● 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、
自動的にスキップします。

## 4 音量を調節する

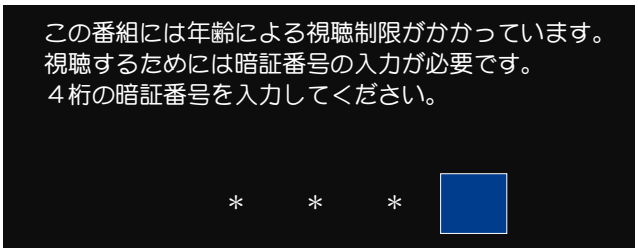
● スピーカーとヘッドホンの音量は、
それぞれ0から60まで個別に調節することもできます。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の
「ヘッドホンの音量を調節する」をご覧ください。

● 放送によって大きすぎたり小さすぎたりする音量を
**[ぴったり音量]**で自動調節することができます。
いつも安定した音量で楽しめます。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の
「ぴったり音量にする」をご覧ください。

▷ **視聴制限を一時的に解除するとき**

視聴の許可年齢で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号の入力が必要です。

## 1 ～ 10/0 で４桁の暗証番号を入力する




視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

- 入力した数字は**[＊]**で表示されます。
- **[0]**を入力するときは 10/0 を押します。
- 間違えたときは◀を押して、1文字消すことができます。

お知らせ

- 電源オンにする際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
- 電源ボタンで本機を電源オフにすると待機状態になりますが一部の回路は通電しています。
- 暗証番号を登録して視聴制限を設定している場合は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときに、暗証番号入力画面が表示されます。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「暗証番号を登録して視聴制限を設定する」をご覧ください。
- 地上アナログ放送で受信できた放送局が地上デジタル放送では受信可能エリアが異なり受信できないことがあります。P.29
- 受信状況（アンテナレベル）の確認ができます。くわしくは取扱説明書（詳細版）の「デジタル放送の受信状況を確認する（アンテナレベル）」をご覧ください。

ご注意

- 携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

**地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは（地上デジタル放送のとき）」P.46 をご覧ください。**

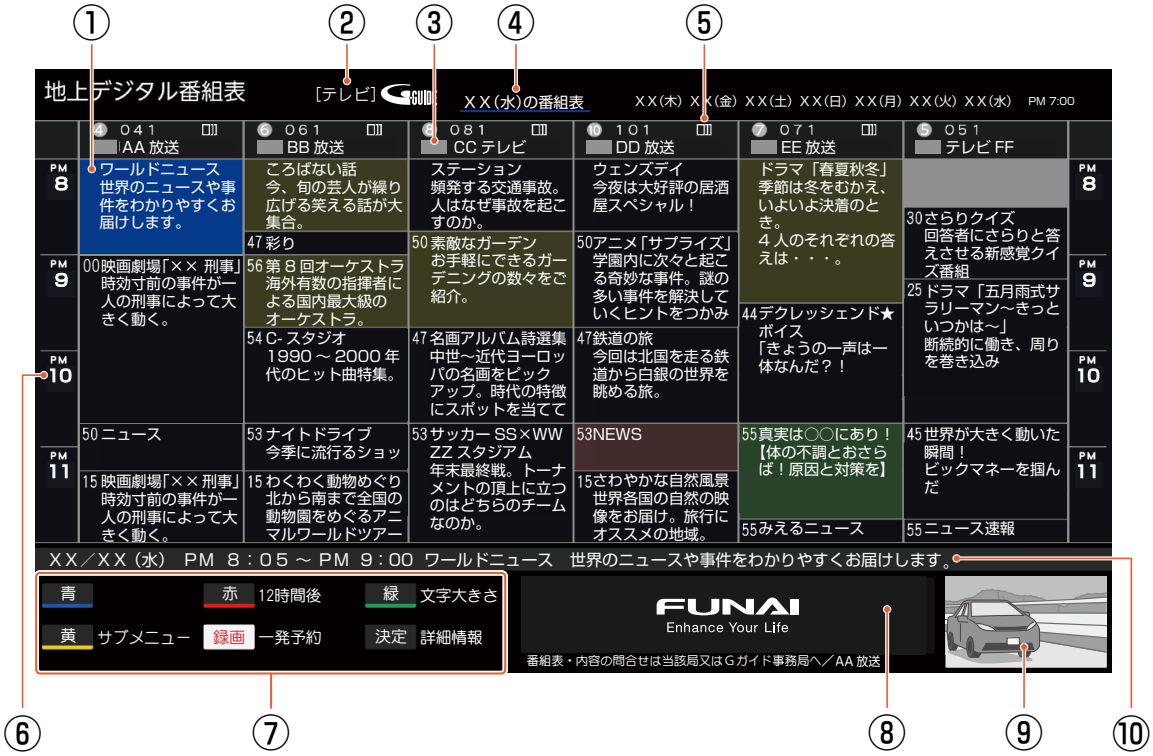
# 番組表（Gガイド）について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表を表示することができます。なお、当社はGガイドを利用した番組表サービス内容については、関与しておりません。放送局から送信されるデジタル放送の番組データを、新聞などのテレビ欄のように表示します。
番組表は最大8日分まで表示できます。

## 1 番組表 を押す

## 2 地上 、BS または CS でお好みの放送の種類を選ぶ

### 番組表の見かた




※広告枠は消せません。

①選択中の番組
②放送の種類／番組表の表示対象
③リモコンのボタン番号／
放送局の3桁のチャンネル番号／
放送局のロゴ／放送局名
④現在の日付表示
⑤折りたたみ表示
（マルチチャンネルが非表示の場合に表示されます。）
⑥時間
⑦ガイド表示
表示されたボタンを使うと、対応した操作がおこなえます。
⑧広告枠※
⑨現在視聴中の放送局の映像
⑩選択中の番組の放送日時、番組名

- くわしくは取扱説明書（詳細版）の「番組表を使う」をご覧ください。

# 番組表の表示／受信について

### ▷ 番組表の表示について

お買い上げ後、すぐには番組表を表示できません。

- **[かんたん一括設定]**（チャンネル設定）を済ませていないと番組データが受信できないため、番組表を表示できません。P.26
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、**[かんたん一括設定]**をやりなおしたいときは取扱説明書（詳細版）の「かんたん一括設定で再設定する」をご覧ください。

### ▷ 番組表の受信について

番組データ（Gガイド用のデータを含む）は、本機が待機状態のときに定期的に受信されます。（その際、動作音がすることがあります。）

- 電源プラグは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。（更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。）なお、視聴中であっても、視聴チャンネルの番組データは取得されます。
- 受信には通常、数十分かかります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。

### ▷ デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表は、それぞれの放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示することができます。P.18

### ▷ CATV（ケーブルテレビ）の番組表について

CATVは、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のCATV会社にご相談ください。

お知らせ

- 次のようなときは、番組データが受信できず、番組表が空欄になるか前回の内容が残ります。
  - 録画中のとき
  - 停電したときや、電源プラグを抜いたとき
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 次のようなときは、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
  - チャンネル設定をやりなおしたとき
  - 約1週間以上、本機の電源プラグを抜いて使用していなかったとき
- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が更新され、番組表の内容と異なることがあります。

# 番組を録画する

USB-HDD

ご注意

- 本機で番組を録画するには、USBハードディスクが必要です。くわしくは「USBハードディスクをつなぐ」P. 24をご覧ください。
- 本機の不具合または放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、記録内容の補償や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機では、デジタル放送を2番組同時に録画することはできません。
- 本機でデジタル放送を録画する場合は、録画モード**[DR]**（固定）となり、他の録画モードは選べません。ただし船井電機製のBDレコーダーと接続している場合は、任意の録画モードでBDレコーダーへ録画予約が可能です。
- 番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。「録画禁止」の番組は録画できません。録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。

## 放送中の番組を録画する

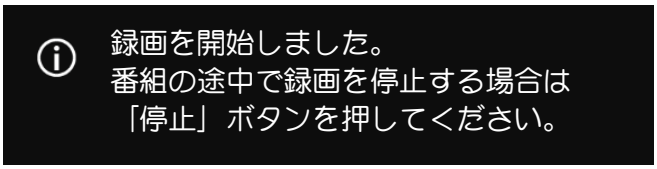
**▶ 準備**

- USB（録画用）端子にUSBハードディスクをつないでおく P. 24

### ▷ デジタル放送を見ているときに

**録画 を押す**

- 下の画面が表示され、今すぐ録画を開始します。




- 今すぐ録画中の番組が終了すると自動的に録画を停止します。

USB-HDD

# 番組表から一発予約で録画する

▶ **準備**

- USB(録画用)端子にUSBハードディスクをつないでおく P.24

## 1 番組表 を押す

## 2 地上 、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

## 3 予約したい番組を選んで 録画 を押す

- 録画予約が確定し、選んだ番組に (赤)が表示されます。
- 番組表に (赤)を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 が表示されます。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、戻る を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源をオフにすることをおすすめします。(電源をオフにした状態でも予約録画は実行されます。)

▷ **予約の確認や取り消しをするときは**
P.36 をご覧ください。

▷ **予約の修正をするときは**
取扱説明書(詳細版)の「録画予約の内容(予約日)を修正する」をご覧ください。

ご注意
- 予約が重なったときは、「予約が重なった場合」をご覧ください。P.40

# 録画中に録画を停止する

## 1 録画中に放送を視聴している状態で、停止 を押す

## 2 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押す

お知らせ
- 電源スイッチがあるセルフパワー型のUSBハードディスクをお使いの場合に、デジタル放送をご覧になるときは、今すぐ録画機能をいつでもすぐにご利用いただけるように、USBハードディスクを電源オンにしておくことをおすすめします。
- 本機の番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。購入直後などは本機の番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。P.33

# 録画予約を確認・消去する

USB-HDD

## 設定済みの録画予約を確認する

**1** デジタル放送を見ているときに メニュー を押し、▲▼、決定 で 予約一覧 を表示させる

**2** 予約を確認する
- 予約の種類によってアイコンが表示されます。くわしくは取扱説明書(詳細版)の「アイコン一覧」をご覧ください。
- 録画予約が時間的に重なっていると、⚠ が表示されます。

## 予約一覧から不要な録画予約を消去する

**1** デジタル放送を見ているときに メニュー を押し、▲▼、決定 で 予約一覧 を表示させる

**2** 予約を確認する
- 予約の種類によってアイコンが表示されます。くわしくは取扱説明書(詳細版)の「アイコン一覧」をご覧ください。
- 録画予約が時間的に重なっていると、⚠ が表示されます。

▷ 録画予約を取り消す場合

**3** 取り消す番組を選んで 黄 を押す
- サブメニューが表示されます。

**4** 予約消去 を選んで 決定 を押す

**5** はい を選んで 決定 を押す

**6** 戻る を押す

▷ 録画予約を複数取り消す場合

**3** 取り消す番組を選んで 黄 を押す
- サブメニューが表示されます。

**4** 複数予約消去 を選んで 決定 を押す

**5** 取り消す番組を選んで 決定 を押す
- この手順を繰り返して、取り消したい番組をすべて選びます。
- 番組を取り消し対象にすると、✓(チェック)が付きます。
- 取り消し対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで 決定 を押します。

**6** 決定 を選んで 決定 を押す

**7** 戻る を押す

お知らせ
- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く(約20秒)終了し、正しく録画されません。この場合は「予約一覧」に⚠は表示されませんので、ご注意ください。
- 番組表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間が変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。P.40 P.41

# 録画した番組を再生する

USB-HDD

本機ではUSBハードディスクに録画した番組を再生することができます。

- 本機で記録したUSBハードディスクは、他の機器では再生できません。

▶ 準備
- 録画用USB端子にUSBハードディスクをつないでおく P.24

**1** 録画一覧 を押す
- 録画一覧が表示されます。

**2** 見たい番組を選ぶ

**3** 再生 または 決定 を押して、再生を始める
- 選択した番組の停止した位置から再生します。

お知らせ
- 続き再生が始まる位置は、番組により多少ずれることがあります。
- 録画時間はおよその目安です。
- 録画日付の新しい順に上から表示します。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画になったり、ブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧が表示されます。

# 録画した番組を消去する

USB-HDD

不要な番組を消去し、USBハードディスクの空き容量を増やすことができます。

- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。

**▶ 準備**

- 録画用USB端子にUSBハードディスクをつないでおく P.24

## 1 録画一覧 を押して録画一覧を表示する

## 2 消去する番組を選んで 黄 を押す

▷ 録画一覧で番組を個別に消去する場合

## 3 番組消去 を選んで 決定 を押す

- 保護されている番組（🔒マークのある番組）は、消去できません。消去したい場合は、保護を解除してから消去してください。

## 4 はい を選んで 決定 を押す

- 番組が消去されます。

## 5 消去が終わったら、戻る を押す

▷ 番組を一括消去する場合

## 3 複数番組消去 を選んで 決定 を押す

## 4 さらに消去する番組を選んで 決定 を押す

- この手順を繰り返して、消去したい番組をすべて選びます。
- 複数の番組を消去対象にして、一括で消去することができます。
- 番組を消去対象にすると、✓（チェック）が付きます。
- 消去対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで 決定 ボタンを押します。

## 5 決定 を選んで 決定 を押す

## 6 はい を選んで 決定 を押す

- 番組消去に関するメッセージが表示されるので、消去されても問題ないデータであることを確認してから はい を選んで 決定 ボタンを押します。

## 7 消去が終わったら、戻る を押す

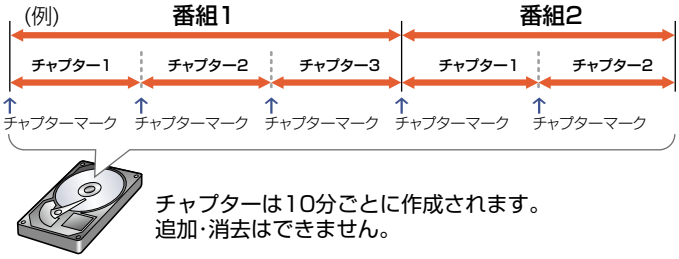
お知らせ
- 録画中の番組は消去できません。

# 録画についての補足説明

USB-HDD

## 録画番組の構成について

■「番組」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。




チャプターは10分ごとに作成されます。
追加・消去はできません。

## およその録画時間(目安)

### 500 GBのUSBハードディスクの場合

| | | |
|---|---|---|
| 地上デジタル | (HD放送) | **約65時間** |
| BSデジタル | (HD放送) | **約46時間** |
| | (SD放送) | **約92時間** |
| 110度CSデジタル | (HD放送) | **約46時間** |
| | (SD放送) | **約92時間** |

- 残量(録画可能時間)表示は、あくまでもおよその目安であり、保証するものではありません。
  - 実際の録画時間は、放送の伝送レートにより目安の残量表示とは異なる場合があります。一般的に、伝送レートは、地上デジタル放送では約17 Mbps、BS・110度CSデジタル放送では最大24 Mbpsとされています。
  - 本機は、地上デジタル放送のHD放送(17 Mbps)で録画される場合の残量を表示します。
  - 伝送レートの違いにより、録画番組を消去しても、残量は消去した録画番組の時間よりも長くならない場合があります。
- 映りが悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画した場合は、実際に録画できる時間は短くなります。

## 録画の種類

**今すぐ録画:** 今見ている番組をかんたんに録画する
**予 約 録 画:** 番組表や番組検索から予約する(番組指定予約) P. 35
録画する時刻を指定して予約する(時刻指定予約)
くわしくは取扱説明書(詳細版)の「時刻を指定して予約する(時刻指定予約)」をご覧ください。

## 同時操作

■ **視聴中** ○:できる ×:できない

| USBハードディスクの動作 / 今やっていること | 今すぐ録画 | 予約録画 |
|---|---|---|
| **放送視聴中** | ○ | ○ |
| **外部入力視聴中** | × | ○ |

■ **再生中** ○:できる ×:できない

| USBハードディスクの動作 / 今やっていること | 今すぐ録画 | 予約録画 |
|---|---|---|
| **USBハードディスクの再生中** | × | ○ |

■ **USBハードディスクの録画中** ○:できる ×:できない

| 放送の視聴 | 再生 | 追っかけ再生 | 今すぐ録画 | 予約録画 |
|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | × | × |

次ページへつづく

# 録画についての補足説明(つづき)

## 予約をしたときの本機の動き

### ▷ 予約があるときは

本機の電源プラグは抜かないようにしてください。また、USBハードディスクの電源をオフしたり、USBケーブルをはずしたりしないようにしてください。

### ▷ 予約録画を終了するとき

視聴中は**【録画終了】**の表示がでます。

## 予約が重なった場合

■ 予約が重なっている場合は、予約一覧で重なっている予約に⚠が表示されます。(前番組の予約の終了時刻と後番組の予約の開始時刻が同じ場合をのぞく)
下図の ■ 、▨ 部分は録画されません。

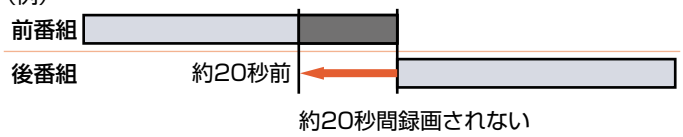
### 連続予約(重複なし)

#### ▷ 前番組の予約終了時刻と後番組の予約開始時刻が同じ場合

前番組の終了約20秒前になったら前番組の予約を終了し後番組の予約を開始します。

→前番組の終了約20秒前から終了までの部分は録画されません。

(例)



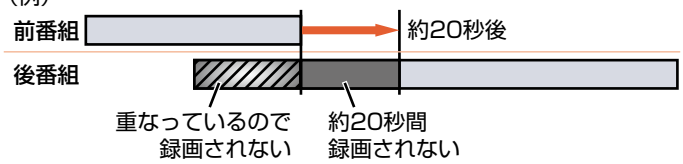

### 重複予約(通常予約同士)

#### ▷ 前番組の予約終了時刻が後番組の予約開始時刻より遅い場合

前番組の終了後、後番組の予約準備をおこなう。
前番組終了から約20秒後、後番組の予約を開始します。

→前番組の終了後、約20秒間後番組は録画されません。

(例)




### 重複予約(視聴予約と録画予約)

■ **どちらも実行されます。**
**ただし、同一番組の視聴予約と録画予約はできません。**

## 複数の録画予約の優先順位

①開始時刻の早い番組
②予約設定が先におこなわれた番組＞予約設定が後におこなわれた番組

## 録画予約が実行されない条件

- USBハードディスクがフォーマットされていない状態またはUSBハードディスクが接続されていないとき
- 停電が起こったとき
  （電源オン時に停電が起こったあと、予約終了時刻前に復帰した場合は、そこから予約開始し、予約終了時刻まで録画されます。）
- 録画予約した番組の開始時刻が３時間以上延びたとき
- 番組自体が消滅したとき
- BSでの降雨状態などの受信障害

※録画予約が実行できなかった場合は、**[テレビからのお知らせ]**でお知らせします。
くわしくは取扱説明書（詳細版）の「本機や放送局からのお知らせを読む」をご覧ください。

## 録画についての制限事項

- 12時間をこえる録画はできません。12時間をこえる時刻指定予約をおこなったときにメッセージが表示され、予約登録できません。また、番組指定予約で12時間以上の番組を予約した場合は、12時間を経過した時点で自動的に録画が停止されます。
- 1,000番組をこえる録画はできません。

**■ 次の番組、映像や音声は録画できません。**

- 独立データ放送、ラジオ放送
- 外部入力

CATV（ケーブルテレビ）をご利用の場合は、パススルー方式（本機のアンテナ端子につないで視聴）であれば録画できます。HDMI端子、ビデオ端子など外部入力につないで視聴されている場合は録画できません。

**ご注意**
- あなたが録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したものでも、著作権者などに無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映すると著作権侵害となります。

## 予約についての制限事項

- 番組指定予約、時刻指定予約を合わせて、95件をこえる予約はできません。

# 放送波による自動更新設定をする

自動更新とは、電源オフ(待機)時にデジタル放送電波を使ってソフトウェアを自動的に書き換える機能です。この機能により、新しい放送環境に合わせて機能アップや機能改善をおこなうことができます。
お買い上げ時は、自動で更新をおこなう設定になっていますので、お客様による操作や設定は不要です。

## 1 メニュー を押し、▲▼、決定 で 機能設定 ➡ その他の設定 ➡ 放送波による自動更新 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 入 | デジタル放送の電波を使って、本機の機能を自動的に更新するようにします。 |
| 切 | 自動更新をおこないません。 |

## 3 メニュー を押す

### ソフトウェアのバージョン確認方法について

現在の本機ソフトウェアのバージョン

※以下の手順に従って、現在の本機ソフトウェアのバージョンを確認してください。
- **[メニュー]** ➡ **[お知らせメール]**で画面右下に表示されます。
- 確認が終わったら、メニュー を押してください。

### ダウンロードについて

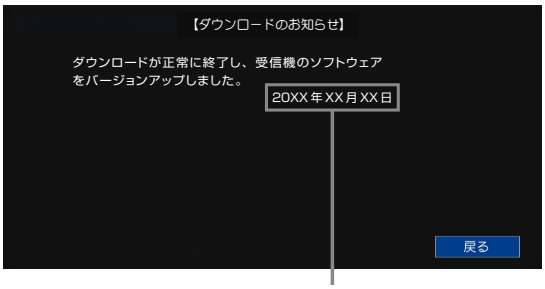
**ダウンロードはいつおこなわれるの?**
ダウンロードは、製品出荷後、適時実施してまいります。本機をご使用になっていない場合にも、電源プラグは抜かずに、電源オフ(待機)の状態にしていただくことをおすすめします。
CATV(ケーブルテレビ)でもダウンロードはおこなわれます。同じようにお使いください。

▷ ダウンロードがおこなわれるとき

- 「ダウンロードのお知らせ」が届きます。お知らせが届くと本機を電源オンにしたとき、または画面表示を出したときに**[✉ お知らせあり]**と表示されます。

※お知らせメールについて、くわしくは取扱説明書(詳細版)の「本機や放送局からのお知らせを読む」をご覧ください。

- ダウンロード実施期間中に、デジタル放送電波を使って、1日に数回、数分間程度のソフトウェアが送信されます。ダウンロードは本機が電源オフ(待機)時に、そのソフトウェアを受信して自動的に書き換えます。
- ダウンロードが成功すると「ダウンロード終了のお知らせ」が届きます。




ダウンロードの実施日

**以下のような場合にはダウンロードがおこなわれません。**
- 電源プラグが抜かれている
- アンテナレベルが23以下になっている
- 「放送波による自動更新」の設定が「切」になっている
- 録画予約実行中
- 視聴予約実行中
- 電源オンのとき

**ダウンロードによって、本機のソフトウェアが更新されたとき、この取扱説明書に記載されている画面や文言と本機が一致しなくなることがあります。**

# 設定を初期化する

一部の設定またはすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

## 一部の設定を初期化する

**[画質設定]**、**[音声設定]**、**[機能設定]**、**[ネットワーク接続設定]**を、個別にお買い上げ時の状態に戻します。

**1** メニュー を押し、▲▼、決定 で 機能設定 ➡ 初期化 を選んで 決定 を押す

**2** 初期化したい設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 画質設定初期化 | **[画質設定]**の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 |
| 音質設定初期化 | **[音声設定]**の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 |
| 機能設定初期化 | **[機能設定]**の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。<br>ただし、**[ネットワーク接続設定]**および**[HDD設定]**は初期化されません。 |
| ネットワーク設定初期化 | **[ネットワーク接続設定]**の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 |

**3** はい を選んで 決定 を押す

**4** メニュー を押す

## すべての設定を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

**1** メニュー を押し、▲▼、決定 で 機能設定 ➡ 初期化 を選んで 決定 を押す

**2** すべての初期化 を選んで 決定 を押す

**3** はい を選んで 決定 を押す

- この手順で はい を選んでも、すぐに初期化は始まりません。手順4で初期化の種類を選んでください。

**4** 初期化の種類を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| はい | すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。HDDの登録情報も初期化(消去)されます。<br>登録情報を初期化すると登録済みのHDD内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。<br>くわしくは取扱説明書(詳細版)の「USBハードディスクを登録する」をご覧ください。 |
| いいえ | 登録したHDDの再生をできるようにしてお買い上げ時の状態に戻すときに選びます。 |
| 戻る | 初期化しないときに選びます。 |

**5** 確認画面が表示されたら、電源 を押す

- 約1分で初期化が完了します。

ご注意

- 本機でお客様が設定しているデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、**[すべての初期化]**をおこなうことをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 困ったときは

## おかしいな?と思ったときの調べかた

おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。
■ CATVチューナー、AVアンプなど、接続している機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

### お使いの製品のソフトウェアが最新バージョンになっているかをご確認ください。

- くわしくは「ソフトウェアのバージョン確認方法について」P.42 をご覧ください。
  最新バージョンについては、当社製品情報サイトの「ソフトウェアの更新情報」ページでご確認ください。

funai.jp/cs/update/

ソフトウェアが最新のときは

### 「このようなときは…」(症状)と「ここをお調べください」(対処方法)をご覧ください。

P.45 ～ P.47

- 電源やリモコン以外の項目については、詳細版の取扱説明書(当社製品情報サイトに掲載)をご覧ください。

あてはまる症状がないときは

### コンセントリセットをおこなっていただき、症状が改善されるかをご覧ください。

- 本機はパソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。電源プラグを挿しなおすことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。
- 以下の方法で、コンセントリセットをおこなってください。
  ① 電源プラグをコンセントから抜く
  ② 10分ほど時間をおいてから、指定の電源電圧(交流100 V)につなぎなおす
  ③ 電源をオンにして、動作を確認する

症状が改善されないときは

### 本機を初期化し、症状が改善されるかをご確認ください。

- くわしくは「設定を初期化する」P.43 をご覧ください。

症状が改善されないときは

### お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 電源やリモコン以外の項目については、詳細版の取扱説明書(当社製品情報サイトに掲載)をご覧ください。

funai.jp/cs/

## 電源

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| 電源がオンにならない。 | • 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。<br>• リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.13<br>• 指定(表示)された電源電圧(交流100 V)以外に電源プラグを挿していませんか。<br>➡ 安全のための保護回路がはたらくため、電源がオンにならなくなります。<br>いったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、10分ほど時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100 V)につなぎなおし、正常動作するかご確認ください。<br>正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。P.50 |
| 電源をオンにしても電源LED(青色)が点灯しない。 | • **[その他の設定]** ➡ **[電源LED]**を**[切]**にしていませんか。<br>• 電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。それでも電源がオンにならない場合は、安全のための保護回路がはたらいている可能性があります。<br>➡ 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。 |
| 本機の電源ボタンで電源がオンになるが、リモコンでは電源がオンにならない。 | • リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.13<br>• リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。<br>• テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P.16<br>• テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 |
| 急に電源がオフした。 | • 無操作電源オフ、無信号電源オフが**[入]**になっていませんか。<br>くわしくは取扱説明書(詳細版)の「省エネ設定をする」をご覧ください。<br>• おやすみタイマーの設定がされていた可能性があります。<br>くわしくは取扱説明書(詳細版)の「自動的に電源をオフにする(おやすみタイマー)」をご覧ください。<br>➡ 再度電源オンにした際、おやすみタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 |
| テレビの電源をオンにするとき、起動に時間がかかる。 | • **[クイック起動]**が**[切]**のときに電源をオンにした際、起動に時間がかかる場合があります。くわしくは取扱説明書(詳細版)の「クイック起動を設定する」をご覧ください。<br>➡ 内部システムによる仕様のため、故障ではありません。 |
| テレビの電源をオフにすると、HDMIケーブルでつないだレコーダーの電源がオフになる。 | • **[HDMI機器制御]**が**[入]**、**[テレビ電源切連動]**が**[入]**になっていませんか。<br>➡ **[テレビ電源切連動]**が**[入]**になっている場合は、本機を電源オフにするとHDMI-CEC対応機器も連動して電源オフになります。<br>HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。 |
| 電源をオフにしたあと、しばらくして動作音がした。 | • 電源をオフしたあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源をオフにしてから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。 |
| 電源をオフにしているときに動作音がした。 | • デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。 |



次ページへつづく

# 困ったときは(つづき)

## リモコン

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| リモコンで操作できない。 | • リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>• リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。<br>• テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P.16<br>• テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。<br>• デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン( 1 ～ 12 )がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。<br>➡ チャンネル ▲▼ や番組表でチャンネル切換をしてください。 |
| チャンネル ▲▼ で、<br>特定のチャンネルだけ選べない。 | • スキップされていませんか。<br>➡ 選びたいチャンネルのスキップを解除してください。<br>くわしくは取扱説明書(詳細版)の「チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する」をご覧ください。 |

## 地上デジタル放送のとき

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| 地上デジタル放送が映らない。<br>映像が乱れる。 | • UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。<br>➡ 地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。<br>くわしくは取扱説明書(詳細版)の「デジタル放送の受信状況を確認する(アンテナレベル)」をご覧ください。<br>• 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。<br>➡ 従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。P.18、P.29<br>• 不安定な動作となる場合は、お使いの製品のソフトウェアが最新バージョンになっているかをご確認ください。またはいったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、約10分時間をおいてから、つなぎなおしていただき、症状が改善されるかをご確認ください。<br>• 同軸ケーブルは正しく接続されていますか。<br>➡ 電源プラグをコンセントから抜いて、同軸ケーブルを一旦取り外し、芯線が曲がらずにしっかり接続されている事を確認してください。<br>• miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。<br>➡ miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.17 |
| 映像や音が出ない、または<br>時々出なくなる。<br>映像が静止する、または<br>時々静止する。 | • UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。またはアンテナ線の劣化などありませんか。<br>➡ **【受信状態の確認】**でアンテナレベルを確認することができます。何らかの要因でアンテナレベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。<br>くわしくは取扱説明書(詳細版)の「デジタル放送の受信状況を確認する(アンテナレベル)」をご覧ください。<br>• アンテナレベルが低い状態でご覧になっていませんか。<br>➡ アンテナレベルが低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり、映らなくなったりすることがあります。 |
| 番組表が表示されない。<br>番組表に表示されない<br>番組がある。 | • お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。番組表を取得するには、本機を電源オフにしてお待ちください。(取得には通常、数十分かかります。)P.33<br>• 電源オンにして最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかります。 |
| 地上デジタルの放送局の<br>ロゴマークが表示されない。 | • 地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。 |

## BS･110度CSデジタル放送のとき

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| BS･110度CSデジタル放送が映らない。<br>映像が乱れる。 | • **[メニュー]** ➡ **[放送受信設定]** ➡ **[BS/CSデジタル設定]** ➡ **[アンテナ電源]**で**[テレビ連動]**を選んでいますか。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「受信状態の確認をする」をご覧ください。<br>• BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。P.18<br>• BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。<br>• 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。<br>• アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工されていますか。<br>➡ **[アンテナレベル]**でレベルが**[24以上]**になっているか、ご確認ください。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「デジタル放送の受信状況を確認する（アンテナレベル）」をご覧ください。<br>• 不安定な動作となる場合は、お使いの製品のソフトウェアが最新バージョンになっているかをご確認ください。またはいったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、約10分時間をおいてから、つなぎなおしていただき、症状が改善されるかをご確認ください。<br>• 同軸ケーブルは正しく接続されていますか。<br>➡ 電源プラグをコンセントから抜いて、同軸ケーブルを一旦取り外し、芯線が曲がらずにしっかり接続されている事を確認してください。<br>• miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。<br>➡ miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.17 |
| BS･110度CSデジタル放送の映りが悪い。 | • アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。<br>• アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。<br>➡ **[アンテナレベル]**でレベルが**[24以上]**になっているか、ご確認ください。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「デジタル放送の受信状況を確認する（アンテナレベル）」をご覧ください。 |
| データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り換わった。 | • データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違ってリモコンの数字ボタン（ 1 ～ 12 ）を押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。 |
| 特定のチャンネルの映像や音声が時々出ない。 | • 本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。<br>➡ BS･110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合は、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。P.18 |
| 有料放送の視聴ができない。 | • miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。<br>miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.17<br>• 有料放送を視聴するための手続きをされていますか。<br>➡ 視聴契約の手続きをしてください。P.29 |
| BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。 | • 110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。P.18<br>• ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1 GHz以上まで対応しているものを使用していますか。<br>• 契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。P.29<br>• 110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 |
| 急に画像や音質が少し悪くなった。 | • 降雨対応放送になっていませんか。<br>➡ 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「用語の説明」をご覧ください。 |

### BS･110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

# テレビ画面に表示されるメッセージ

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。
代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

| | 表示されるメッセージ　（例） | メッセージの意味と対応のしかた |
|---|---|---|
| E204 | このチャンネルは存在しません。 | • チャンネル３桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。P.30 |
| – | 地上デジタル放送を受信するためには<br>**[メニュー]→[放送受信設定]→[かんたん一括設定]**でチャンネルスキャンをおこなってください。 | • 地上デジタル放送を受信するために、**[放送受信設定]**で、**[かんたん一括設定]**をおこなってください。P.26 |
| E202 | 放送を受信できません。 | • 地上デジタル放送の**[地上デジタル設定]**で、**[再スキャン]**をおこなってください。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「地上デジタル放送のチャンネル設定をする」をご覧ください。<br>• アンテナレベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。また、放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「受信状態の確認をする」をご覧ください。 |
| – | 悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。 | • 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。<br>また、番組表示ができない場合もあります。<br>くわしくは取扱説明書（詳細版）の「用語の説明」をご覧ください。 |
| – | このチャンネルは契約されていません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | • 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。P.29 |
| – | このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。 | • データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。 |
| – | miniB-CASカードを正しく挿入してください。 | • miniB-CASカードが挿入されておりません。<br>miniB-CASカードを正しく挿入してください。<br>miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.17 |
| – | このminiB-CASカードは使用できません。<br>カスタマーセンターへご連絡ください。 | • 使用できないカードが挿入されています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.17 |
| – | このminiB-CASカードは使用できません。<br>正しいminiB-CASカードを挿入してください。 | • カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.17 |
| E200 | 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | • 選局したチャンネルが非放送番組です。 |
| – | このチャンネルは現在放送されていません。 | • 選局したチャンネルが放送休止中です。 |
| E210 | この受信機では、このチャンネルは選局できません。 | • 本機では選局できないチャンネルです。 |
| – | データ放送を受信できません。<br>別のチャンネルを選局した後に<br>再度ご覧のチャンネルを選局してください。 | • データ放送のデータが受信できません。<br>いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 |
| – | データの表示ができませんでした。<br>別のチャンネルを選局した後に<br>再度ご覧のチャンネルを選局してください。 | • データ放送のデータが受信できません。<br>いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 |

# 使用上のお願い

## 著作権などについて

### ▷ 商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Brands LLCおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国Xperi Inc.および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国Xperi Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SVGA、XGA、SXGAは米国IBM社の登録商標です。
- For DTS patents, see http://patents.dts.com.
  Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS,TruSurround, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2024 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

ACCESS™ NetFront®

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、NetFrontロゴは日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  © 2023 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

### ▷ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。
- Portions of this software are copyright (C) 1996-2000 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品は、ntpdateを使用しています。
- Copyright (C) University of Delaware 1992-2009
- Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.
- 本製品は、株式会社ACCESS のNetFront Browser を搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License（以下、GPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェアは、以下に記載のGPLおよびLGPLの条件によりソースコードの入手、再配布の権利があります。 組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、下記にご連絡ください。

**〒574-0013**
**大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社**

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください

■ 保証書（梱包箱に貼り付けしています）について
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。
  また、当社製品情報サイトの「お問い合わせ」ページ（funai.jp/cs/contact/）の修理規約も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

**製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。**

■ ご不明な点や修理に関するご相談
- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社製品情報サイトの「サポート」ページ（funai.jp/cs/）に従ってお調べください。
  それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機 お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間
- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について
- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について
- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、記録内容の補償はいたしません。

**※この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。**

■ 修理を依頼されるとき
- 不具合があるときは、電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合はご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定（外部機器との接続・調整・取扱説明など）を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認をおこなった交換用製品となります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時からの保証期間が適用されます。

**ご連絡いただきたい内容**
- **お名前**
- **ご住所**
- **電話番号**
- **お買い上げ製品の型番**
  （この取扱説明書または保証書に記載）
- **お買い上げ製品の製造番号**
  （保証書または本機背面のラベルに記載）
- **お買い上げ日**
- **症状**（故障または不具合の内容）

**相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて**
- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。（2023年10月現在）

## 本液晶テレビの廃棄
- 事業者が廃棄する場合
  －本液晶テレビを廃棄するときには産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務付けられています。くわしくは各都道府県産業資源循環協会へお問い合わせください。産業廃棄物管理票は、（公社）全国産業資源循環連合会に用意されています。
- 個人が廃棄する場合
  －家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- 本機を廃棄されるときは **すべての初期化** をおこなうことをおすすめします。P.43

# 仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

| 型番 | | | FL-32H1070 | FL-24H1070 |
|---|---|---|---|---|
| 種類 | | | 地上･BS･110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ | |
| 電源 | | | AC100 V 50／60 Hz | |
| 消費電力 | 起動時 | | 31 W | 25 W |
| | 待機時 | | 0.1 W<br>**[クイック起動]**を**[入]**に設定時:約8 W※1 | |
| 年間消費電力量※2 | | | 55 kWh／年<br>区分名※3: a（2K未満液晶テレビ） | 46 kWh／年<br>区分名※3: a（2K未満液晶テレビ） |
| 受信機型サイズ | | | 32V型 | 24V型 |
| 音声 | スピーカー(×2) | | 11.0 cm × 4.1 cm | 8.0 cm × 3.6 cm |
| | | | 実用最大出力JEITA<br>5 W + 5 W | 実用最大出力JEITA<br>3 W + 3 W |
| 地上デジタルアンテナ入力 | | | UHF　1軸　75 Ω不平衡形 | |
| BS･110度CSアンテナ入力 | | | 75 Ω不平衡形(C15 形)兼コンバーター用電源(DC 15V)出力 | |
| 受信チャンネル | | | 各:000～999ch<br>地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル | |
| 表示画素数 | | | 1,366 ドット × 768 ライン | |
| 画面寸法(cm) | | | 幅：69.8　高さ：39.2　対角：80.1 | 幅：52.2　高さ：29.3　対角：59.9 |
| ヘッドホン出力端子 | | | φ3.5ステレオミニジャック | |
| ビデオ入力端子 | | | (映像／音声)1系統　φ3.5　4極ミニジャック | |
| HDMI入力端子 | | | 2系統　2端子 ARC対応(HDMI1入力端子のみ) | |
| LAN端子 | | | RJ-45　10BASE-T／100BASE-TX | |
| USB端子(録画用) | | | USB2.0準拠　Type A　DC 5 V　最大500 mA　(録画用) | |
| 外形寸法 | スタンドあり | 幅(cm) | 72.0 | 55.6 |
| | | 高さ(cm) | 45.7 | 36.9 |
| | | 奥行(cm) | 19.1 | 19.1 |
| | スタンドなし | 幅(cm) | 72.0 | 55.6 |
| | | 高さ(cm) | 42.5 | 33.4 |
| | | 奥行(cm) | 7.3 | 7.4 |
| 質量 | スタンドあり(kg) | | 4.2 | 3.4 |
| | スタンドなし(kg) | | 4.1 | 3.3 |
| 使用周囲温度 | | | 5～40 ℃ | |

| リモコン | 型番 | FRM-104TV |
|---|---|---|
| | 電源 | DC 3 V(単4形乾電池2本) |
| | 質量(g) | 約113(乾電池含む) |
| | 操作範囲 | 左右各約30° 以内、上約15° 下約30° 以内 |

※1 **[クイック起動]**を**[入]**に設定した場合のみの消費電力となりますので、以下の動作をしているときはさらに消費電力が増加します。
- 本機で受信したデジタル放送を録画しているとき
- BS･110度CSアンテナへの電源供給を本機からおこなうために、**[アンテナ電源]**を**[供給する]**および**[テレビ連動]**に設定しているとき

※2 省エネ法[2026年度基準]に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に消費する電力量です。

※3 省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

- テレビのV型(32V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧･放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.
- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- テレビの省エネ法の改正(2021年5月)により、年間消費電力量の測定方法と区分名が変更になりました。本書では、新基準での年間消費電力量、区分名で掲載しています。

## 取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、**お買い上げの販売店へ**お問い合わせいただくか、
**船井電機 製品情報サイトの「サポート」ページ** funai.jp/cs/
をご覧ください。製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。

● 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

## 船井電機 お客様ご相談窓口

固定電話からのご利用は（通話料：無料）　携帯電話からのご利用は（通話料：有料）

**0120-055-271**　**0570-008-271**

受付時間　9：00～18：00（年末年始を除く）

※時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方はこちらまで　FAX：06-6746-3374

■ 付属品のご購入についてはこちらをご確認ください。

https://www.funai-service.co.jp/shop/funai/

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。（2023年10月現在）

| 愛情点検 | ● 長年ご使用の製品の点検を！（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。） | | | |
|---|---|---|---|---|
| | このような症状はありませんか | ● 映像や音がでない。<br>● 変なにおいがしたり、煙がでたりする。<br>● 内部に水や異物が入った。<br>● その他の異常や故障がある。 | ➡ ご使用中止 | このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。 |

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

FUNAI

船井電機株式会社

AH8F0JT-32HB
AH8L0JT-24HX
バージョン：1.1